

第73回（令和2年度）優良公民館表彰 事例集

〔最優秀館 1館〕		
宮城県	名取市那智が丘公民館	…1

〔優秀館 6館〕					
群馬県	邑楽町中央公民館	…3	岡山県	笠岡市新山公民館	…9
福井県	越前市南中山公民館	…5	広島県	広島市似島公民館	…11
福井県	福井市清明公民館	…7	広島県	大竹市立栄公民館	…13

北海道	浦幌町厚内公民館	…15	岐阜県	瑞浪市陶公民館	…71
北海道	石狩市公民館	…17	岐阜県	美濃市洲原公民館	…73
青森県	中泊町中央公民館	…19	岐阜県	多治見市根本交流センター ※	…75
岩手県	久慈市宇部市民センター ※	…21	静岡県	浜松市入野協働センター ※	…77
岩手県	八幡平市立寺田コミュニティセンター ※	…23	愛知県	北名古屋市東公民館	…79
宮城県	富谷市成田公民館	…25	愛知県	知立市中央公民館	…81
秋田県	能代市中央公民館	…27	京都府	京丹後市久美浜地域公民館	…83
秋田県	横手市十文字西公民館	…29	京都府	綾部市豊里公民館	…85
秋田県	秋田市西部市民サービスセンター ※	…31	京都府	八幡市立生涯学習センター ※	…87
山形県	寒河江市西部地区公民館	…33	兵庫県	加西市中央公民館	…89
福島県	会津若松市湊公民館	…35	和歌山県	上富田町立生馬公民館	…91
福島県	福島市吉井田学習センター	…37	和歌山県	かつらぎ町立見好公民館	…93
栃木県	鹿沼市南摩地区公民館	…39	鳥取県	鳥取市立大村地区公民館	…95
群馬県	前橋市下川淵公民館	…41	鳥取県	米子市尚徳公民館	…97
埼玉県	さいたま市立与野本町公民館	…43	島根県	浜田市立白砂公民館	…99
埼玉県	深谷市南公民館	…45	島根県	大田市立中央公民館	…101
埼玉県	松伏町多世代交流学習館「メロディー」 ※	…47	岡山県	岡山市立高松公民館	…103
千葉県	浦安市中央公民館	…49	広島県	庄原市比和自治振興センター ※	…105
千葉県	船橋市北部公民館	…51	山口県	周南市三丘市民センター ※	…107
千葉県	旭第二市民会館 ※	…53	徳島県	阿南市立宝田公民館	…109
神奈川県	平塚市立松原公民館	…55	愛媛県	宇和島市立和霊公民館	…111
神奈川県	厚木市立緑ヶ丘公民館	…57	愛媛県	松山市五明公民館	…113
富山県	小矢部市立松沢公民館	…59	愛媛県	今治市関前開発総合センター ※	…115
富山県	黒部市立若栗公民館	…61	福岡県	小郡市のぞみが丘校区コミュニティセンター ※	…117
石川県	白山市立吉野谷公民館	…63	佐賀県	唐津市北波多公民館	…119
石川県	津幡町条南公民館	…65	長崎県	諫早市小栗公民館	…121
山梨県	韮崎市穴山公民館	…67	長崎県	長崎市西公民館	…123
長野県	小諸市公民館	…69	大分県	国東市熊毛地区公民館	…125
			鹿児島県	鹿児島市伊敷公民館	…127
			鹿児島県	鹿屋市花岡地区公民館	…129

※… 公民館と同等の施設

4Kをキーワードに据えた講座・事業の展開

名取市那智が丘公民館



【運動会開会式の聖火点灯シーン】



【野菜市3周年記念&餅つき大会の様子】

公民館の取組概要・経過

- 地域まちづくり活動につながる公民館講座の企画が必要。
- 平成27年度から「地域・まちづくりチャレンジ講座」を開設。
- 以降、毎年、地域まちづくりにつながるテーマを選び実践。
- 現在、講座がきっかけで始まった地域まちづくり事例は9つ。
- これらは、現在、サークル・団体が主体となり活動。
- 公民館は広報紙やホームページ等で広報支援。
- 講座の企画にあたっては、毎年固有のキーワードを設定。
- 令和元年度は4Kと8K。
- 記憶に残る公民館4大事業の展開。
- 令和元年度の運動会では開会式に聖火リレー実施。

取組による成果や効果、大切にしていること

- 那智が丘地区の地域力向上。
- 情報発信力の向上。
- 小学生・中学生・大学生と大人が交流する機会を創出。
- 公民館利用者数の増加。
- 公民館利用者独自のボランティア活動。
- 公民館は困った時の#「地域のセーフティネット」。
- 来館者一人ひとりに真心を込めて接することが大切。
- 小さなことから工夫・改善する意識を持つことが大切。

都道府県名	宮城県	公民館対象人口	3675人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	名取市	建物設置年月日	平成10年4月1日	来館者利用可能PC台数	0台	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 714人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 215人 (新春祝賀会94名他)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 22447人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 620人	計	23996人		
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人)	<input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 3人	計	4人		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (名取市社会教育委員の会議と兼ねて開催)					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 自由記述 ()					
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 (尚綱学院大学、みどり台中学校、那智が丘小学校、那智が丘地区町内会連絡協議会、那智が丘地区青少年健全育成会、那智が丘小学校PTA、名取市保健センター、名取市社会福祉課、名取市地域包括支援センター他)					

名取市那智が丘公民館

OPEN 8:30~17:15

TEL 022-386-6266

HP <https://www.city.natori.miyagi.jp/public/nachigaoka->

SNS





特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

●地域まちづくり活動につながるテーマを中心とした公民館講座の企画・実践

地域が抱える課題や地域の将来を話し合い、自分たちでできることを考え行動を起こすという趣旨で、平成27年度に「地域・まちづくりチャレンジ講座」を開設しました。以降毎年、地域まちづくりにつながるテーマを選び実践しています。現在、講座がきっかけで始まった地域まちづくり事例は9つに達しています（右図）。これらは、サークル・団体が主体となり活動し、公民館では広報紙やホームページ等で活動日程や内容紹介などの活動支援を行っています。また、講座の企画にあたっては、職員の意識合わせのため、毎年キーワードを設定して策定しています。（元年度はデジタル放送の4K・8Kにあやかり4K[環境・健康・観光・交流]・8K[教育・教養・共存・共栄をプラス]をキーワードとしました）

●記憶に残る公民館事業の展開（ひと工夫加えた公民館事業を目指す）

公民館の四大事業（球技大会・運動会・公民館まつり・新春を祝う会）の実施にあたっては、参加者の記憶に残るシーン創出を合言葉に毎年ひと工夫加えた事業を展開しています。元年度の運動会では開会式に小学生と大人がつながり聖火リレーを取り入れ絆を深める演出を行いました。

○那智が丘まちづくり活動事例

まちづくり事例	活動内容	時期	活動主体
野島市プロジェクト	古い物に不自由さを感じている住民のための野島市を再建	H27.7～ 毎月1.3金	野島市PJ
カタクリの里を育てる会	地域の家である高麗山のカタクリなど、自然を守り継承する活動	H29.4～ (4回)	那智カタクリの里を育てる会
伝統的な門松製作	かつて仙台で門のように飾られていた伝統的門松を製作・再現	H28.1～ (5回)	門松製作有志
えにしにの会	生活支援を通じ、互いに助け合い、安心して暮らし続ける地域作り	H24.4～	えにしにの会 (NPO申請中)
お茶しませんかの会	地域で気軽に話せる場所が欲しい、という要望から始まった活動	H27.7～ 毎月1.3金	お茶しませんかの会
ウォークラリー	自由に歩くことで、健康増進、交流促進、地域の見守り活動推進	H29.5～ 年4～5回	ウォークラリー倶楽部
那智っこきょうだい塾	子供達に学習習慣を身につけさせ、社会性を養う活動	H27.8～ 月2～3回	那智っこきょうだい塾
地域情報発信検討委員会	地域情報発信の検討・実践（STEP1：データ放送、STEP2：HP）	H28.7～	那智が丘連絡協議会
落ち葉の資源化	温床枠を製作し町内一斉清掃等で集めた落ち葉を資源化	R元.11～	那智が丘連絡協議会

公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- 那智が丘の地域力向上に貢献：まちづくり事例を地方紙が紹介
- 情報発信力向上：地域情報伝達実証実験参画(データ放送)、町内会HP運用協力
- 世代間交流講座により小学生・中学生・大学生と大人が交流する機会を創出

これまでの取組全体による成果・効果

- 公民館利用者数の増加：H25までは年間延べ2万人程度、直近5年は約2.5万人
- 公民館利用者独自のボランティア活動：草刈り、清掃、修繕など協力者が増加

住民手作りの木道を歩きカタクリ散策



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- 公民館運営会議は、町内会長や行政区長、民生児童委員、部会長等28名で構成する公民館運営協力委員会を年2回開催しています。このほか各事業ごとに実行委員会、専門部会を開催しています。
- 公民館の現状や課題、各事業について数値化・グラフ化・図化した資料を作成し、各事業の振り返りや次回への改善点等を議論、多様な意見等を踏まえながら検証・改善を行い、PDCAサイクルを回す公民館運営を行っています。
- 地域との連携、情報共有は、町内会横断的組織である連絡協議会に館長が参加し、タイムリーな情報交換を行っています。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

●公民館運営には、地域の協力・信頼関係の構築が不可欠です。そのためには、公民館職員が待ちや受け身の姿勢ではなく、積極的に町内行事や活動に参加する必要があると考えます。これを実践するため、職員は町内会行事（例えば、毎年8月末に開催される町内の一大イベントである夏祭り）に積極的に参加し、活動の共有に努めています。また、公民館利用者の多数を占める高齢者団体・サークル活動については、資料作成やネット利用など、公民館職員のスキル・技術を活かしたサポートを行っており、「今日の用事は公民館、今日行くところは公民館」と言われるように関係作りを努めています。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

- 公民館は身近にあり、困った時の支えになる**地域行政のセーフティネット**であると認識し、来館者一人ひとりに**真心を込めて接すること**が大切だと思います。
- 地域との信頼関係作りのため日々改善、指摘・疑問は宝物。前例も大事、されど小さなことから工夫・改善する意識を持ち、業務・活動の**見える化**と**共有化**、**情報の発信**に努めています。
- 業務に対する課題や問題を探り出し、それを職員みんなで改善するよう取り組んでいます。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、公民館を取り巻く環境はこれまでとは大きく変わりました。公民館に求められることも変化し、これからは試行錯誤を繰り返しながら利用者に安心して利用していただく環境づくりやそれに伴う事業の実施など、これまでとは違った視点も取り入れながら公民館を運営していく必要があると考えています。

また、東日本大震災から10年を迎えようとする被災市町村の公民館として、薄れゆく震災の記憶の継承や有事の際の取り組みなど公民館の事業の中にも取り入れていく責務があると考えています。

那智が丘公民館全景



人と人がつながり、楽しく集い学ぶ公民館

邑楽町中央公民館

公民館の取組概要・経過

背景・きっかけ

- 公民館の移転・新築を機に新しい公民館を創造（H30）
- 公民館の来館者減少（利用者の固定化・高齢化）
- 子ども・若者の公民館離れ

取組

- 障がい者青年学級の開催（H16～）
- 中央公民館移転・新築に伴うオープニングイベント事業（実行委員会でイベントやワークショップ等を開催）
- 「中央公民館を核とした社会教育のあり方」を作成・実施
- 情報発信のため、H P・ツイッター・YouTubeの制作、公民館だよりの復活、地元テレビ局へのP R出演
- 家庭教育事業子育てひろばの開催（S62～）
- ORA ROCK FESの開催（H28～）
- 地域課題解決支援講座開催（H29）

取組による成果や効果、大切にしていること

- 公民館来館者数（若者や新規利用者など）が大幅増加
- 住民のつながりが強くなり、まちづくりプロジェクトが誕生（地域活性プロジェクト、文化芸術プロジェクト）
- 障がい者自身の成長と地域社会とのつながりができた
- 子育てへの悩みや不安が解消され、つながりが継続
- # 人づくりはまちづくり # 日頃から連携・協力 # 人を育てる
- # つながりを大切に # 住民主体の地域づくり



自立への第一歩である調理実習(障がい者青年学)

都道府県名	群馬県	公民館対象人口	26255人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	邑楽町	建物設置年月日	平成30年9月1日	来館者利用可能P C台数	0台	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	12399人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	74516人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等	10291人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	393人	()		計	97599人
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	4人	<input type="checkbox"/> 兼任	0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	7人
	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア協力者	6人	(職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人)		計	17人
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂	<input type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール		
	<input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 自主夜間中学	<input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援		
	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援		
	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	(文化芸術事業、大学や他町へ出張出張前講座・講演など)				
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 学校	<input type="checkbox"/> 生涯学習センター		
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述	(485人収容のホールは、コンサートや講演会のほか利用者の発表の場として大いに利用されている)				
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 大学	<input checked="" type="checkbox"/> 高校	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input checked="" type="checkbox"/> NPO		
	<input type="checkbox"/> 企業	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
(中野小学校、邑楽中学校、常磐高等学校、立正大学、高崎商科大学、町社会福祉協議会、町婦人会、町文化協会、町茶華道会、町音楽連盟、町子ども会育成会連絡協議会、町レクリエーション・リーダーズクラブ、ボーイスカウト、ガールスカウト、邑楽消防署、町ホテルの会、中野絆会、日本釣振興会等)						

邑楽町中央公民館

OPEN 9 : 00~22 : 00

T E L 0276-88-1177

H P <https://www.ora-ph.jp>

SNS <https://twitter.com/OraTownOfficial>





特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

●障がい者青年学級

不利な立場の人こそ、学習権を公民館で保障するという構想の下、知的障がい者の自立した生活と余暇活動の充実を目指すことを目的に平成16年度から実施。障がいのある青年たちが自立していくことは、親が亡き後も生きる力を身に着けることにつながる。立ち上げ前の2年間は、福祉施設職員や看護師、保育士などいろいろな分野のスタッフを集めて研修会を行い体制を整えてから開講。プログラムは青年たち自らがやりたいこと、経験してみたいことをボランティアスタッフとともに企画し運営する。主に食事作りやレクリエーション、軽スポーツ、買い物など生きていくうえでも、自立するうえでも大切なことを学び、「生きる力」を培う。

●中央公民館移転・新築に伴うオープニングイベント事業等

平成30年9月1日に移転・新築に伴う公民館開館を機に、利用者はもちろん、未利用者へのアプローチ（オープニングイベント等）を、住民と立ち上げた実行委員会で企画運営。公募で集まった地域住民や会社員、主婦、文化団体、公民館運営審議会委員など21名が参加。実行委員会で演劇・音楽・ダンスの3ジャンルを軸に、ワークショップや学習会、アウトリーチなどの新規利用者開拓につながる事業を実施。特長は、①既存組織ではなく、住民参加型の新しい組織の立ち上げ、②ワークショップや公民館の必要性・役割等の講演会を行い参加しやすい環境をつかった、③住民や参加者の声を反映し、年齢などレベルや状況に応じた柔軟な運営を心掛けた。

公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

●障がい者青年学級では、食事作りなど生活力を身につけることで、家族内の会話が増え気持ちの安定が図られた。また障がい者自身の成長と地域社会とのつながりができた。

●オープニングイベント事業では、既存の団体でなく公募することにより新しい利用者や若者をはじめ幅広い年代や職種の人たちが参加し、いくつかの新規団体が結成された。

これまでの取組全体による成果・効果

●公民館の認知度が高まり、若者や新規利用者などが増加（10年間で2倍）

邑楽町中央公民館の利用実績（10年間）

年度	利用人数	サークル数	年度	利用人数	サークル数
22	43,708	67	27	53,086	75
23	41,038	72	28	54,101	76
24	34,393	71	29	63,327	76
25	45,924	72	30	88,330	84
26	52,200	71	01	97,599	86

取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

●学識経験者や学校教育・社会教育・家庭教育関係者、公民館団体代表者等で構成する公民館運営審議会を年2回開催。

●公民館の事業や取組を報告するとともに見直しや改善点などを議論。委員からの意見等を踏まえながら検証改善を行っている。また、外部の学識経験者から、事業の実施状況・点検評価・課題について詳細な検証を受けている。

●地域学校連携推進活動に関する内容については、中野小学校学校評議員会議で実施。（館長が委員として参加）

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

●障がい者青年学級が発足から16年が経過し、参加者の固定化とボランティアスタッフの不足が課題であった。広報紙等で参加者とボランティアスタッフを公募したところ、障がい者1名とボランティアスタッフ4名の応募があった。

●公民館の移転・新築を機に、町内外に広くPRするとともに、新規利用者開拓のため様々な仕掛けを企画運営。公募で集まった住民を中心にした実行委員会で、2年間延べ28回にわたり住民のニーズと地域課題を住民目線で丁寧に議論した。

●若者の利用者を増やすため、音楽バンドの「ORA ROCK FES」を開催し、若者の利用が著しく増えた。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

●公民館がこれまで培ってきた地域との関係を生かし、**住民一人ひとりが主役**となり**地域力を育む「学び」**を実践するための拠点となるよう、公民館が果たすべき役割は重要である。**職員も積極的に研修会や地域に出向き、時代のニーズや地域課題を把握**し、解決するための施策を、関係団体や学校、福祉施設、大学、NPO、地域づくり団体等と**日頃から連携・協力していくことが大切**である。さらに、「人づくりは、まちづくり」を基本に、地域社会で大きな役割を担う公民館が、**地域コミュニティの活性化に取り組むことが大切**である。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

少子高齢化、地域のつながりの希薄化等、様々な課題が山積する中で、人生100年時代を見据え、一人一人がいかに幸せな人生を歩むのかを次の仕掛けにより実践。

●共生社会の実現に向け、利用者はもちろん子どもから高齢者まで幅広い世代や障がい者、地域の人たちが主体的に学び、つながることでコミュニティの活性化を創出。

●SNSやオンライン講座を開設し、高齢者、障がい者、引きこもり対策を図る。

●町の史跡巡りなど町の魅力を再発見し学ぶ「邑楽学」を創設し郷土愛を育む。

●人生100年時代を意識した高齢者の学びと仲間作りを継続的に行う。





公民館の取組概要・経過

背景・きっかけ

- 地域と赤米の歴史的なつながり
(約1300年前に奈良の薬師寺に赤米奉納)
- 小学校、地域住民、自治振興会、児童館、公民館等の連携事業が充実
- 地域活動（団体）の担い手不足

取組

- 小学校、自治振興会、公民館が連携した赤米おくり事業(H16～)を実施
- 児童館、地域、公民館が連携した放課後子ども教室を開催
- 青年層の人材発掘と育成のための青年学級の実施
- 公民館運営協議会で小学校・児童館・各種団体と協議
- 地域全体だけでなく、集落自治も重視し、元気な地域づくりを目指す公民館講座（集落元気塾）の実施

取組による成果や効果、大切にしていること

- 赤米おくり事業を通じて、子ども達に地域愛が育った。
 - 地域住民同士のつながり意識や絆が強化された。
 - 子どもや青年達が地域活動に加わることで、地域に活力が生まれた。
- # 地域に提案という石（意思）を投げる
持続可能な地域活動 # 地域住民同士のつながり
笑顔と笑い声があふれる地域活動

都道府県名	福井県	公民館対象人口	3,000	インターネット接続環境	有
市区町村名	越前市	建物設置年月日	昭和56年5月	来館者利用可能PC台数	1台
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 7454人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 3672人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 0人 計 <input checked="" type="checkbox"/> その他 4595人 (越前市事業、各町内行事、個人利用) 15721人				
職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 3人 計 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人) 3人				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用 <input type="checkbox"/> その他 ()				
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (児童館) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 (南中山小学校、南中山児童館、認定こども園南中山、仁愛大学、南中山地区自治振興会、南中山地区女性会、南中山地区壮年会、南中山地区シニアクラブ、食生活改善推進員会、南中山小学校PTA、認定こども園南中山保護者会、)				

越前市南中山公民館

OPEN 9:00~22:00

TEL 0778-43-1290

HP minaminaka-ko@city.echizen.lg

SNS



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

●南中山地区伝統の赤米おくり事業（小学校と自治振興会、公民館による連携事業）
「種まき・田植え・稲刈り・奈良の薬師寺への赤米奉納」は、学校のカリキュラムにも位置付けられている。地域の指導者の下、赤米づくりを体験するだけでなく、赤米の歴史についても地域の語り部から話を聞き知識を深めている。また、冬には、「赤米の藁を使ってしめ縄作り」を地域の方と一緒に体験したり、子ども達の描いた絵を元に、地域住民が協力し、田んぼアートを作成したりしている。



●放課後子ども教室“わかさっこ”（児童館と地域、公民館による連携事業）
季節の行事「七夕まつり、クリスマス会」では、地域の方が会場設営を行い、児童の活動の発表「ハンドベル、ウクレレ演奏」も行われ、地域の方との交流の場として大変喜ばれている。また、毎月定期的な活動として、公民館自主講座の方や地域の読み聞かせボランティアの方が講師となり、将棋・お茶教室・絵本の読み聞かせ等を行っている。



●子どもたちに夢を提供する活動（公民館主催事業【青年学級】）
新成人のつどいをきっかけに集まった地域の青年が、青年学級の一環として、納涼祭や文化祭における子どもコーナーを担当したり、「サンタが家にやってくる」を開催したりする中で、地域の子供達に夢を提供する活動に継続して取り組んでいる。

公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- 子どもたちが地域の大人と関わり、地域のことを知ることで、地域に対する愛着を深めた。
- 子どもから大人まで世代を超えた活動に取り組む事で、世代間交流が進み、地域住民同士のつながり意識や絆の強化につながった。
- 子どもや青年達が地域の活動に参加することで、地域に活力が生まれた。



これまでの取組全体による成果・効果

- 公民館・小学校・児童館・地域が連携して活動することで、地域の中に新たなコミュニティが生まれ、さらにその輪が繋がり、大きなコミュニティへと発展し、地域力の向上に繋がった。

取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- 自治振興会役員、小学校校長、各種団体15名で公民館運営協議会を年3回開催し、事業内容について協議している。
- 地域ボランティアサポーターやコーディネーターと事業についての評価を行い、常に目的を確認しながら取組の検証・改善を行っている。
- 事業の参加者に対してアンケート調査を行い、参加者の意見を汲み取り、事業内容の改善に活かしている。
- 地域学校協働活動に関する内容については、南中山小学校学校運営協議会で内容を検討している。
（館長、自治振興会事務局長が委員として参加）

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

- 少子化による人口減少や高齢化の中、地域活動の担い手不足が大きな課題となっている。このような中で、子どもや青年たちに地域愛を育む取組をさらに続けていくことで、少しずつでも地域の中で活躍できる人材を育成できるように努めている。
- 主体的に活動できる子どもの育成がより一層重視されている現状を踏まえ、今後、子どもたちの主体性を高めていけるように、小学校、地域住民、自治振興会、児童館等との連携をさらに強化していく。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

- 学校や自治振興会・各種団体と情報を共有し、お互いに助け合える関係を築いている。
- 地域活動の中で、**達成感**や**満足感**を感じられるような方向性や、**楽しく活動できる**雰囲気づくりを大切にしている。
- 池に石を投げ入れると周りに何重もの輪が広がるように、**地域に提案の石(意思)**を投げた時、コミュニティの輪が何重にも広がり、**持続可能な地域活動**が活発になるよう、**地域住民同士のつながり**やコミュニケーションを大切にしている。**笑顔と笑い声のあふれる地域活動**がモットー！



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

- 赤米おくり事業の中で、地域の青年達も参加できるような新たな事業を展開させたい。
- 大人が楽しく地域活動をしている姿を子ども達に見せることで、子ども達の中に、地域を愛する心を育み、将来自分たちもそうなりたいと思える活動を進めたい。
- 子どもから青年、高齢者まで、いつでも井戸端会議ができる、地域に開かれた公民館を目指していきたい。



ぼくたち、公民館で夢の種みつけたよ！

福井市清明公民館

公民館の取組概要・経過

取組みのきっかけ

● H25年、少年教育に表現活動を取り入れようと、公民館でギターを弾いて歌っていた小学生に声をかけ**子たちの意思により**、発表の場として**「夢王国」事業**を実施することとなった。

取組みの概要・経過（PDCAサイクル）

P…H25年度～現在、スタッフ会議・**夢王国子ども議会**・**夢王国子ども国会**を設けてとことん話し合う。
D…せいめい夢さっず・せいめい夢王国などプロジェクトを企画・運営。朗読劇・バンド演奏・動画づくり・映画づくり・お化け屋敷など**主体的・創造的活動を展開**。
C…清明公民館運営審議会において事業報告し評価・意見を頂く他、生涯学習課ブロック担当者より**監査・指導**を受ける。
A…改善点を少年学級における反省会の時に提示して、共有するほか、**随時解決に努め、学級生自らが次につなげる**。

取組による成果や効果、大切にしていること

取組みによる成果や効果

- 子どもの来館者が増えた。（毎日20人～40人）
- 異年齢の子どもたちが交流することで社会性を身につけた。
- 地区の行事に参画し賑わいを創出している。
- 持続可能な社会づくりに貢献している。

大切にしていること

子どもが主人公 # 子どもの内発性 # 夢の種を見つける
 # 創造性の発露 # 子どもの居場所 # ボランティア精神 # 仲間



都道府県名	福井県	公民館対象人口	7759人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	福井市	建物設置年月日	昭和57年4月1日	来館者利用可能PC台数	1台	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 876人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 16660人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 134人	計	17670人	
職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ()	<input type="checkbox"/> 兼任 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 5人	計	5人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (資源循環型社会を目指す環境事業)	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (屋上緑化・太陽光発電・雨水利用を行いエコロジーを推進している)					
各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 (福井県立足羽高校・福井市清明小学校・清明育遊会・すずらん児童館・NPO法人せいめい夢ファーム会・清友会・平清会・育遊会・いこさあいらぶ清明・清MEN団・青少年育成市民会議・育成会・清明まちづくり委員会・城山エコミュージアム・NPO法人森のほうかごがっこう・公民館各自主グループ他)					

福井市清明公民館

OPEN 9:00~21:00
 TEL 0776-38-0043

H P <http://seimei.cfo.jp>
 SNS seimei_yumeoukoku(Instagram)





特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

H25年度、発表の場として始まった「夢王国」事業は、話し合いで内容や役割分担を決める等、子どもたちが主体的に実施しているもので、R2年度の現在まで続く事業へと彼らとともに成長した。

東日本大震災の後、家庭の省エネ対策で公民館を子どもたちに開放したことにより、来館する子が増え、教育事業へと誘いやし環境ができた。そこから、活動を見ていた子がメンバーに加わるという好循環が生まれ、異年齢の青少年層が次々と繋がった。

中には小学校を卒業しても学級のサポート活動をしているメンバーもあり、当時中学1年生だった子が、20歳になった今でも関わってくれている。そのような子が育っていることは、公民館としても地域としても力強い限りだ。

●取組の具体的内容としては、「せいめい夢王国〇〇物語」と銘打った事業を年に2、3回企画・運営する他、公民館のグリーン作戦や時には募金活動、介護施設慰問といったボランティア活動も行っている。また、地域の一員となってまちづくり事業に参画するなど、子どもたちの活動の場は広がっている。

夢王国の活動により、公民館が子どもたちの居場所になることで、子どもたちの「仲間づくり」「自分の夢の種を見つけ育てる」ことに確実に繋がっていると感じる。

●事業の運営で気をつけている点は、**職員は、見守りと助言に徹し、学級生の主体性・内発性を大事にしている**という点である。**長く継続できているのは、やはり子どもたちが自分たちの意思や考えで運営していることで、満足感・達成感を感じ、また次もやりたいという意欲に繋がっているからだ**と考える。



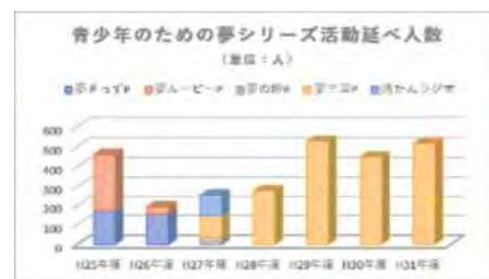
公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

●H25年から7年間、小中学生の学級生の他、卒業後も中学生・高校生・大学生が事業のサポート活動をしている。また、その中で7名が新たな青少年グループを作り主催事業を実施するまでに成長している。サポートメンバーは中学生3名・高校生3名・大学生1名。(H31年度現在)7年間の青少年の活動回数は合計225回、延べ人数2,666人。

これまでの取組全体による成果・効果

●青少年層が公民館事業に参画し、また、地域事業などのサポート活動をすることで地域全体が活性化し、持続可能な社会へ貢献している。それらの体験が自身の夢の発見や社会性の学びへと繋がっている。



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

これまで夏祭りや文化祭においては活動を見ていただいた地域住民より感想や意見をいただく機会があった。また、公民館運営審議会において活動報告をして、評価・意見を頂いている。福井市生涯学習課の監査対象となっていて評価・指導も受けている。それらと事業実施後のアンケートの意見を反省会の中で、学級生と担当者が共有し、学級生自らが次年度へ生かすようにしている。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

学級生は多様性の集まりであり、主張のぶつかり合いや話し合いがうまくみ合わないこともある。支援学級の子どもも参加しているので、差別のない活動となるよう、協調性を育てながら、とことん話し合うことを大切にしてきた。自分の居場所を見つけられず途中リタイアするメンバーに来館を促すなど疎遠にならないよう努め、自分の意志で自分の居場所を見つけられるようサポートする。何か課題が出てきた時は、とことん話し合うことで解決へ導き、仲間を尊重することを学び、社会性を身につけていく。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

- 青少年層が公民館活動を通して自分の**夢の種**を見つけ、育てていくこと。
- 異年齢のつながりを通して、**体験から**社会性を学ぶこと。
- どんな意見も一旦受け入れて、**話し合い**で解決するよう促すこと。
- 青少年が自分を解放し、仲間と協調することで**自分のアイデンティティ**を知ること。
- 長期的な視点**に立ち、次にどうつながっていくか常に意識すること。
- 職員は見守りと助言に徹し活動を促す。無理強いはいしない、**主体性**に任せること。
- 事業を実施する際には参加者にアンケートをとり、**振り返り**をし、次回に生かすこと。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

- 少年教育においてInstagramで活動を発信することを始めたので、そこでつながった全国の公民館に働きかけ、全国の子どもたちとオンラインで交流する取組を考えている。
- PDCAサイクルのほか、OODAループ思考を採用し、より一層活動の活性化を図る。
- Withコロナ時代が続くことも視野に入れて、オンラインとオフラインを上手く組み合わせた事業展開、SNS発信など広報の充実を図り、活動が衰退しないよう努めたい。
- 地域に住む在留外国人の子どもたちにも少年学級に参加・交流できるよう考えている。



もっと自慢できる新山 ず〜っと優しい新山

笠岡市新山公民館



公民館の取組概要・経過

- きっかけ-
 - ・人口減少に伴う少子高齢化
 - ・若い世代が輝く地域づくり
 - ・子どもたちがもっと地域を知り、もっと好きになる
- 取組-
 - ・各種団体組織、青壮年団組織との協働事業を推進する。
 - ・公民館と大学院生によるワークショップを開催した結果、「ふるさとへの愛着」をキーワードとして考えることとなった。
 - ・学校で行う「総合学習」のねらいや活動を知るため、小中学校を訪問し、学校のカリキュラム内で公民館の強みを生かせる取組を検討する。
 - ・小学生目線の宝「まちのお宝探検隊」を企画、実施する。
 - ・中学校の「総合学習」の1グループが、短編映画の制作に加わる。

取組による成果や効果、大切にしていること

- ・公民館が、各種団体、青壮年団、小中学生と一つになってプロジェクト協働事業を成功させることができた。特に中学生の参加によって、公民館の#憧れのサイクルを循環させたことは大きい。
- ・#子どもたちの目線は、大人が思っていた以上に#地域に愛着を持っており、地域の役に立ちたいと思っていることがわかった。
- ・短編映画制作は、たくさんの地域住民の協力で実現した。中学生も#地域のつながり、#絆を強く感じる事ができた。

都道府県名	岡山県	公民館対象人口	1600人	インターネット接続環境	有
市区町村名	笠岡市	建物設置年月日	昭和60年3月30日	来館者利用可能PC台数	0台
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 120人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 200人 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 100人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 50人	計	470人
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア協力者 3人 ()	<input type="checkbox"/> 兼任 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人)	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人	計	5人
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input checked="" type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (新山公民館運営委員会)				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> SNS等オンライン活用 <input type="checkbox"/> その他 ()				
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (小学校・学童保育・保育所と隣接している)				
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 (地元青壮年団・自治会・愛育委員会・栄養委員会・社会福祉協議会・消防分団・婦人会・老人クラブ・文化を楽しみ育てる会・民生委員会)				

笠岡市新山公民館

OPEN 午前9時～午後9時(利用時間)
TEL 0865-65-0220

H P <https://niiyamakouminkan.jimdofree.com>
SNS





特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

コンセプトは… I L o v eふるさと"絆"で拓く
もっと 自慢できる新山 ず〜っと 優しい新山
…を次世代に繋ぎます。

- ・中学生参加による短編映画の制作。(アオハル物語)
映画の制作を通して、「地域の人々につながってもらいたい。」「ふるさとを振り返ってもらいたい。」「ふるさとに大切な思い出が詰まっているなあ。いつかはふるさとに帰りたい!」と思うきっかけにする。
- ・子どもたち目線による「まちのお宝探検隊」の実施。
将来子どもたちが、「ふるさとに帰ってきたい。」「ふるさとが好きだ。」「ふるさとが自慢だ。」と思える姿を目指し、「自分たちの思いを受け入れ、育んでくれる」地域でありたいと思うきっかけにする。



(ポイント) 地域の中で「憧れのサイクル」を循環させることができた。
小学生→中学生→青年層→各種団体(地区民)→公民館

公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。(できれば箇条書きで)

特徴的な取組による成果・効果

- ・短編映画制作における連携、役割の中でも、「憧れのサイクル」が循環できた。
企画、運営主体(中学生) - 企画、運営協力(青年層) - 企画、運営サポート(大学生) - 企画、調整、地域のまとめ(公民館) - 出演協力(地域団体)
- ・子どもたちの思いの詰まった地域を、大切に思う心情が芽生え、地域のために何かしたいという気持ちが育っている。
- ・地域には、子ども目線の宝がたくさんあることに公民館が気づき、相乗効果生まれる。

これまでの取組全体による成果・効果

- ・青年層の参加により、若い世代が輝く地域づくりへの思いが、地域全体へ波及効果として浸透している。(定住促進、Iターン、Uターン)
- ・「子どもたちのやりたい講座」として、夏、冬の長期休暇に工作教室を企画、実施している。
- ・中学生が公民館を身近に感じ、短時間の居場所として利用する機会が増えている。

取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- ・学校からの協力が得られるよう、学校運営協議会において事業の説明を行った。また、年度末の会では、公民館事業に関して意見交換・情報共有している。
- ・公民館運営委員会(文化部・体育部・広報部3部構成、延べ40名)で行事の都度、協議を行っている。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

- ・少子高齢化の中、事業によっては世代間交流活動が年々難しくなる傾向にあるため、「高齢者(老人クラブ等)の目線での宝」「高齢者が思う地域活性化への思い」等の聞き取りをし、多世代交流にも生かしたい。
- ・長期的には、隣接公民館地域ブロックでの活動が望ましい。
- ・学校との協働事業においてIT活用などを考えているが、セキュリティ・個人情報保護・安全面などクリアしなくてはならないことがある。
学校とさらなる連絡・調整を行っていく。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。(キーワードは赤字)

- ◎ 毎日の行動指針は「みんな 元気で 仲良く 頑張ろう」
- ◎ 公民館の役割「学ぶ、結ぶ、集う」に加えて
 - ・この度のプロジェクトの中で、「子ども目線」「生まれ育った故郷に興味・関心を持つこと」が、ふるさとへの愛着に繋がることを改めて知ることとなり、大切さを感じている。
 - ・子どもたちが、自らの考えや行動する力を育てるとともに、故郷愛を育み、地域活性化を担う人材育成に繋げる。少子高齢化が叫ばれている中において、公民館が担う「地域の要」としての役割は、ますます大切になってくると考えている。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

- (現状) 少子高齢化と学校統廃合問題がある中で、地域活性化を維持するためには、ますます公民館の果たす役割は大きくなっていく。また、諸団体の活動も大きく寄与しているが、諸団体会員となる人の絶対数が少なくなってきたり、諸団体役員への負担が大きくなっている。
- ◎ 将来的には、公民館に諸団体の地域組織を包括して、(必要により事務担当を増やす) 団体組織の事務処理を行う。行政からの発受信も一元化し、各種団体が行う活動を簡素化して取り組みやすくする。
 - ◎ 公民館は、少子高齢化社会や学校統廃合問題がある中で、「地域の要」としての存在とその役割は必須である。
 - ◎ 自治会と公民館は、地域の両輪。地域住民の安心安全、心の居場所としてサポートする。
 - ・小・中学校の「総合学習」の中に、公民館の強みを生かせる社会学習等を検討していきたい。





公民館の取組概要・経過

きっかけ

- H9年の公民館設立時、人口減少が進みピーク時の半分
- 離島ゆえの利便性の低さを理由に、少子高齢化が進行し、現在、高齢化率56.4%（R1）
- 公民館来館者は少なく、利用者が一部に限られる。

取組

- 地域活性化を視野に来島者も楽しめる「愛らんどフェスタ」を開催
- 似島の自然を生かした事業の他、似島を「バウムクーヘン日本発祥の地」として設定、バウムクーヘンづくりや歴史講座などの関連事業を企画（H14～）
- H25には、人口減少対策として「似島地区コミュニティ交流協議会」が本格始動、H27「地域おこし協力隊」の着任
- 地域活性化へ町全体の気運の高まりと共に、公民館ならではの役割を意識したサポート力、提案力が期待されている。

取組による成果や効果、大切にしていること

- 上記の取組を通じて、以下の成果を生み出すことができた。
- 地域活性化のイベントでは、公民館がサポート役となり、似島の魅力を島外へPRすることに成功し、訪れる人が増加
 - 対象人口が少ないため、一人一人の意見に耳を傾け、地域の方が生き生きと輝ける様な事業化へと繋げることを心がけている。
- # 地域の魅力を発掘して生かす # 人材の発掘 # 一人一人との対話を大切に

都道府県名	広島県	公民館対象人口	761人	インターネット接続環境	有
市区町村名	広島市	建物設置年月日	平成9年11月1日	来館者利用可能PC台数	2台
運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者（公益財団法人広島市文化財団） <input type="checkbox"/> その他（ ）				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2707人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 10388人（個人利用など）	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 2995人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 3633人	計	19723人	
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 3人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	<input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人	計	3人	
予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input checked="" type="checkbox"/> その他（指定管理料）				
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他（ ）				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用 <input checked="" type="checkbox"/> その他（（平和教育事業「平和ウオーグinニノシマ」、パソコンフリースペース（勉強会）））				
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館（図書室） <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他（区役所出張所、区消防署出張所、診療所、集会所） <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述（人口の少ない離島であるため、親戚つきあいの様なアットホームな雰囲気や気軽に立ち寄られることも多い。主要港に隣接しており、2階の部屋からは海が眺めらる。観光客も多く立ち寄り観光案内所やちょっとした休憩所としても利用されている。）				
各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 似島地区コミュニティ交流協議会、似島地区社会福祉協議会、似島地区老人クラブ連合会、似島学区体育協会、似島地区公衆衛生推進協議会、似島保育園、似島中学校、似島児童館、広島平和養老館、広島市（南区役所、国際交流課ほか）、ハローパーの日実行委員会、愛らんどフェスタ実行委員会、ニノシマポータルを育てる里人の会、似島篠笛同好会My太鼓、地域おこし協力隊、みなとオアシス広島、広島フィルム・コミッション、南区民文化センター、似島臨海少年自然の家、南区内公民館				

広島市似島公民館

OPEN 8:30～22:00

TEL 082-259-1100

H P <http://www.cf.city.hiroshima.jp/ninoshima-k/>

SNS





特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

● 似島活性化応援事業

① 地域活性化をめざす地域団体似島地区コミュニティ交流協会や広島市等との共催イベント『ハノーバーの日 & 似島でドイツ体験』、『似島アイランドカップ』、『のろしりレー』他

② 島の将来を考えるつどい

現役世代（30～50代）が集う場がないとの声を受けて、海の見える公民館の研修室をレストランに見立てて『おいしい！でつながる・広がる交流の輪～海の見えるレストランへようこそ～』を実施。ワインの学習にあわせて元シェフの地域おこし協力隊も似島の食材を使ったワインにあう料理を振舞った。

③ 島の魅力を生かした事業

『にのシネマ フランス映画「なつのひかり」上映会 & 監督とのトークタイム』

似島をロケ地として撮影された映画を公民館で上映した。地元ロケの映画ということもあって地元の関心も高く、フランス人映画監督も来島し、県外からも映画ファンが訪れた。

● 郷土の歴史講座

地域在住の郷土史研究家の協力を得て、定期的な実施。特に公民館の山向こうに後藤新平が陣頭指揮をとって建設した世界最大級の検疫所（当時）では、時代の移り変わりによってドイツ人捕虜収容所や多数の被爆者が搬送された臨時救護所に転用された。特に、近年は公民館が発端となった「バウムクーヘン日本発祥の地」について強い関心が寄せられている。

● 似島篠笛伝承講座

似島に残る独自の祭囃子を継承し、次世代へつなげる事業。担い手の子供の数が減少する中、公民館が住居や年齢制限なしで開催することで、篠笛人口を増やし、秋祭の祭囃子をにぎやかにすることに一役かっている。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- ・イベント等のPRにより全国から島を訪れる若者の数が増加。ネットでの口コミにより海外からも観光客が訪れるようになった。
- ・平成30年の豪雨災害時には、地域団体や地域おこし協力隊と連携してボランティアの受け入れなどに奮闘した。全国から駆け付けたボランティアのおかげで早い復旧が実現するとともに、「愛らんどフェスタ」や「復興フェスタ」では、かつてのボランティアが再訪し島民と再会を喜びシーンもたくさん見られた。
- ・平成14年2月のピースセミナーと愛らんどフェスタを契機に、似島が「日本におけるバウムクーヘンの発祥の地」として知られるようになった。

これまでの取組全体による成果・効果

- ・公民館活動が浸透し、事業やボランティア活動、まちづくり活動に理解をしめす方が増え、元気で生き生きとした高齢者が増えた。（※講座の後などに感想を言ってくれるなど。）



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

公民館運営委員会（公民館運営審議会）で年に1度、前年度の事業報告と今年度の事業計画について協議し、様々なアドバイスや意見をいただき、取組の改善に役立っている。

事業実施後にアンケートが取れなかった場合は、公民館に立ちよられた際にお一人お一人に感想などを尋ね次に生かしている。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

成人・青年層が少ないため、どうしても一人一人への負担が大きくなってしまふ。公民館が培ってきた事業や人脈を最大限に生かし、インターネットの積極的な活用に加え、フェリーの便数や時間的な制約はあるものの広島港から20分という利点を生かし、似島の魅力に魅せられた人がまちづくり活動に積極的に関わっていただけるような仕組みをつくりたい。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

広島市で一番対象人口の少ない公民館であるため、**住民一人一人と直接対話し**、学習ニーズ、課題などを掘り起こし、事業やイベントとして**形にしていること**を心がけている。

また、対話等により、新たな人材を発掘し、**地域の方が生き生きと輝ける場づくり**を心がけている。

最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

島の未来を担う若年層や青年層の活躍の場を意識的に設けていきたいと考えている。

具体的には、バウムクーヘンをテーマとした絵本を地域の若者とともに企画・制作し、似島の魅力や歴史を伝えていく活動を予定している。



～このまち「いいね♡」愛ラブ さ・か・え～

大竹市立栄公民館

公民館の取組概要・経過

《背景・きっかけ》

- ①地域住民が集まりやすく地元自治会等活動の拠点となっている。
- ②史跡や環境保全の取組が多い地域である。
- ③「放課後子供体験教室」の場となっている。
- ④来館者（特に若者）の減少と自主事業のマンネリ化が課題。

《①～④を踏まえて多世代が集い、共にまちづくりに参加できる場としての公民館を目指した取組を行った》

- ・広島県公民館等活性化モデル事業へ応募し、多世代で地域の良さを再発見する「栄サイクリング探検隊」を2年間実施した。
- ・③の学習を充実させるために地域の人材や公民館で学んだ人達を講師やサポーターなどに迎えたり、交流会を催している。
- ・赤ちゃんとお母さんの絆を深めるための事業を実施し、その後も自主サークル化し、継続して親子で集える場を提供している。
- ・広報活動の強化。（市のFacebookを活用、公民館広報誌の発行、市広報への掲載、学校へチラシ配布等）

取組による成果や効果、大切にしていること

- ・若い世代に地域の良さや大切な事を伝えることができた。
 - ・企業や多くの団体を巻き込み、若い世代につながることができた。
 - ・公民館活動で学んだ成果を子供や地域の活動に活かすコーディネートができた。
 - ・多世代が利用するようになり、講座の参加者数も増加した。
- #みんなが気持ちよく使える身近な施設 #笑顔になれる
#地域の人とつながる #みんなの居場所 #得意な事を活かしてお互いを大切にする**



都道府県名	広島県	公民館対象人口	4978人	インターネット接続環境	有
市区町村名	大竹市	建物設置年月日	昭和56年4月1日	来館者利用可能P C台数	0台
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1442人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 2125人 (選挙, 自治会対抗ラジボール大会練習会)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 10678人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 1300人	計	15545人
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数)	<input type="checkbox"/> 兼任 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 4人	計	5人
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (社会教育委員会議でその役割を果たしている)				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> SNS等オンライン活用 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (成人の生きがいづくり、子供の居場所づくり、高齢者の居場所づくり)				
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (栄町を明るくする会、栄町地区社協の事務局) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (建物は古いですがいつもキレイにっていて、明るく清潔感があるので地域の人が集まりやすい環境です。)				
各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他 さかえこども園、大竹小学校、大竹中学校、大竹高校、JA佐伯中央農協、大竹警察署、三井・ダウポリケミカル、日本製紙、栄町子供会、地域介護課、保健医療課、環境整備課、上下水道局、社会福祉協議会、大竹和紙保存会、生涯学習グループなど				

大竹市立栄公民館

OPEN 9:00~22:00 (日曜日9:00~17:00)

T E L 0827-53-6688



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

栄公民館では、地域の資源（人・物・自然など）を活用することで地域への愛着を高め、地域のために行動できる人材を育成することを常に意識し、事業を行っている。

《特徴的な取組み》 ※広島県公民館活性化モデル事業

『栄サイクリング探検隊』1年目…テーマ「町の史跡を巡り、平和について考える」

2年目…テーマ「町の施設を見学し、環境について考える」

実行委員会を立ち上げ、自治会、子供会、地元企業、大竹警察署、市の関係部署と連携し、事業の企画、運営、反省、改善を行った。内容としては、自転車の安全な乗り方を学び、自転車で町の史跡や環境保全施設を見学し、地域の良さを発見していくもの。与えられた情報を聞くだけでなく、子供たちが主体的に学べるよう子供会議を開催した。

1年目の平和学習では、まず被爆体験談を聞き、地域に残る戦時中の建物や記念碑などについて予習した後、子供会議を開催した。そこで、サイクリングコースを確認し、被爆体験談の感想を出し合い、平和をイメージしたシンボルマークを各班で作成した。後日、そのシンボルマークを各自が自転車に装着し、学習した史跡を実際に見学するサイクリングに出かけ、振り返りを行った。

2年目は、先にサイクリングに出かけ、コース中にある太陽光発電システムや下水処理場、リサイクルセンターなど環境保全のための施設を見学した。後日、子供会議を行い、資料や写真を添えて、学んだことの振り返りを冊子にまとめる作業を行った。暑かったが、自治会からアイスクリームの差し入れをもらって大喜びの子供たちだった。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- ・平和や環境の大切さを学ぶことができた。
- ・子供と地域の大人の交流が図れ、子供も大人も地域の良さを発見できた。
- ・参加しなかった人たちにもこのことを伝えたいという意見が多くあった。
- ・交通安全への意識が高まり、正しい自転車の乗り方が身についた。
- ・暑い中の開催だったが、対策を十分講じてケガ人や熱中症など体調を崩す人がいなかった。

これまでの取組全体による成果・効果

ターゲットを子供や子育て世代に重点を置き、幼い頃から公民館を利用する体験をして、公民館を身近な施設として捉え、公民館に用事がなくても気軽に立ち寄り人（特に子供）が増えた。また、3年間で事業の受講者数が増加している。

地域の大人が登下校の見守り等の際、笑顔で会話する子供が増えた。（地域コミュニティの広がり）



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

大竹市では、社会教育委員会議と教育委員会の外部評価委員会で、各公民館の事業全体についてのチェックを行っている。職員が説明や自己評価を行った後、委員さんから改善点・意見などを聞いて、次年度に活かすようにしている。個々の事業については、事業実施後に必ずアンケートを実施し、参加者や講師の意見をもとに報告書を作成し、生涯学習課職員と共に反省・改善点を見出しバージョンアップさせている。また、月1回の公民館担当者会議で、他の公民館事業と情報交換を行ったり、個々の事業について意見を出し合ったりしている。また、自己評価等を行う際、職員のスキルアップも必要となると思うので、県主催の研修会や公民館大会等への参加は欠かさず、月刊公民館、社会教育などの冊子の購読も行っている。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、既存事業の開催方法の見直し・改善が必要となる。感染症拡大防止に対して最大限の対策を講じた上で、つながりや交流を通じてまちづくりに発展させる取り組みを行わなければならない。しかし、ステイホーム、密を避ける、マスクの着用など事業を実施する上で大きな弊害となる。この状況が完全に収まり通常の事業が行えるようになるまで、何もしないわけにはいけないので、小集会でできる事業を継続して行いながら、地域の人同士が公民館を通して様々な人と安心して情報収集したり、つながりを持つことが出来るようにスマホ・タブレット活用講座を実施している。また、それを活用した新たな事業も実施していきたい。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

地域みんなの施設になるように、一人一人が気持ちよく笑顔で利用していただけるように心掛けている。古い建物だが、清掃活動を徹底し、壊れた箇所があればすぐに補修している。仕掛けとしては、赤ちゃんの頃から公民館を利用し、大人になってもずっと身近な施設に感じてもらえるように子育て支援事業や子供の事業に力を注いでいる。さらに、今まで公民館で学んだ利用者を子供たちの講師として招いたり、安全管理をお願いしたり、一緒に遊んでもらったり多世代で子供の体験活動や学びに活かすようにしている。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

新型コロナウイルス感染症の流行により、ステイホームや3密を避けるなどの注意喚起がある状況で、今まで通りのやり方や内容では全く通用しないと考える。今、公民館は何を求められ、どのような役割を果たすべきなのか。新しい様式、新しい考え方をどんどん取り入れて地域の人たちをその方向に導いていけるよう事業を行って行きたい。

具体的には、高齢者が孤立しないような仕組みや取組、子育て世代や若者が公民館を通じてまちづくりに参加できる取組など、世代を超えた交流やつながりが持てるように地域・学校・家庭と連携した事業に取り組んで行きたい。



地域の社会生活は、集合活動を通して向上する。

浦幌町厚内公民館



公民館の取組概要・経過

きっかけ

- 地域の幼稚園、小・中学校の統廃合（利用者の減少）
- 世代間、組織間の連携の弱まり
- 地域の過疎化と住民の高齢化
- 防災意識の高まり

取組

- 「厚内公民館まつり」のリニューアル
- SDGsの観点を持った公民館運営へのシフト
- 防災訓練及び学習会の実施（年度内で複数回実施）
- 公民館カフェの開催（H30）
- 学校への積極的な協力と地域学校協働本部への参画（H30）
- CSの理解促進と協力体制の構築

取組による成果や効果、大切にしていること

上記取組を通じ、次のような成果があった。

- 地域の子どもたちの郷土愛の育成
- 高齢者も安心・安全に生活できる地域づくり
- 各機関の連携が強化

#地域住民が「つどう」 #親しまれ支えられる公民館づくり

#自ら「学ぶ」生涯学習の推進 #「つなぐ・むすぶ」

#持続可能な社会

都道府県名	北海道	公民館対象人口	249人	インターネット接続環境	有		
市区町村名	浦幌町	建物設置年月日	昭和53年12月6日	来館者利用可能PC台数	0台		
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）						
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	1323人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	1362人	<input type="checkbox"/> 講演会、展示会等	0人	計
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	1333人	（ 児童・生徒/地域住民等 ）			4018人	
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	1人	<input type="checkbox"/> 兼任	0人	<input type="checkbox"/> 非常勤	0人	計
	<input type="checkbox"/> ボランティア協力者	0人	（ 職員のうち社会教育主事有資格者の数		0人 ）	1人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他（ ）						
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール			
	<input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援			
	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input type="checkbox"/> 家庭教育支援			
	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用			
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	（ 公民館まつり・敬老会・Mochiyori喫茶かもねぎ・ひまわりサポート会 ）					
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 消防会館との併設 ）					
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述	（ 花いっぱい運動・チャレンジ！「子ども看板製作」教室・地域ゴミ拾い清掃 ）					
各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input type="checkbox"/> 大学	<input type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 小中学校	<input type="checkbox"/> NPO			
	<input type="checkbox"/> 企業	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関	<input type="checkbox"/> その他			
<input type="checkbox"/> 浦幌小学校・彩りの会・遊士の会・蕎麦打ち同好会・漁業女性部・漁業青年部・市街婦人会・ゴミ拾い実行委員会・「花いっぱい運動」実行委員会・公民館まつり実行委員会・子ども育成会・ふまねつの会・体育振興会・浦幌町・教育委員会・町立図書館・町立博物館・浦幌町社会福祉協議会・郵便局・厚内警察							

浦幌町厚内公民館

OPEN 9:00~21:30

TEL 015-578-2407

H P syakyou@urahoro.jp

SNS



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなど合わせて教えてください。

●「厚内公民館まつり」リニューアル

過疎化で各団体の活動自体が縮小傾向にある中で、行政、関係機関、団体が連携強化を図り、地域と公民館が総力を結集して実施。高齢者、若者世代、子育て中の親子に活躍の場を設け、全ての人々が元気で活躍し続けられる地域を目指す。

●防災訓練及び学習会の実施

高齢化が進む地域において、安全・安心な地域づくりの観点から、防災に関する取組を拡充すべきという判断から、年間複数回の防災訓練及び学習会を実施。自然災害が多発する昨今において、住民の防災意識の高揚に加え、公民館が実施する異世代間交流により、地域住民が当事者意識を持って参加することができており、結果として安心・安全な地域づくりに寄与することにつながっている。

●公民館カフェの実施

地域住民が各々の一品を持ち寄り、気軽に集い、話す場づくりを創出。高齢者から子供まで異世代が集う場となっている。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- 異世代間交流の創出
- 地域活動を自分たちで行うことで、持続可能な地域づくりの実現が図られた。
- 住民相互がつながることで、安全・安心に生活できる地域づくりにつながっている。

これまでの取組全体による成果・効果

- 小・中学校が統廃合される中において、地域の子供たちの居場所になっている。
- 行政主導から住民主体への転換が徐々に図られている。



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- 公民館運営審議会を年間3回開催
- 公民館まつり実行委員会の開催（部会・終了後総括評価/適時開催）
- 町内全ての公民館長が集まる「公民館長会議」を定期的を実施し、他公民館の取組を交流

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

●地域として幼稚園・小中学校の統廃合や高齢者大学生の減少により、講座を企画しても参加者が少ないなど多くの課題を抱え、全ては地域の人口減少によるもので、避けられないことかと悩んでいたが、「本当にそうなのか」「地域の人口減少を口実にしていないか」ということを審議会等で話し合い、「講座の参加者を増やすよりも、参加者の満足度を高め、住民が笑顔になることを第一に考えるべき」と方針を転換。現在では、講座の後に一人一人の交流の時間を大切にしよう心掛け、次回参加へと繋がる講座の開催を目指している。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

「**地域の社会生活は、集会活動をとおして向上する**」という基本方針を掲げ、異世代が交流する機会の創出に努める他、地域住民が主体となり、住民の手によって運営される公民館を目指している。

また、重点項目と最重要事項として、(1)地域住民が**つどい**、親しまれ支えられる公民館づくり、(2)**自ら学ぶ**生涯学習の推進、(3)**つながり・むすぶ**生活文化活動の振興を設定し、全ての世代が安全・安心に暮らせる地域づくりを大切にしている。

さらに、時代の流れにのった事業及び講座の運営にもチャレンジしている。（リモート等）



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

小・中学校の統廃合が進み、地域住民が集うことができる唯一の場所となった厚内公民館は、まさに地域の中核となる施設である。今後一層、子供の活動を支える地域活動、持続可能な地域コミュニティの形成、そして地域のソーシャル・キャピタルの醸成が重要となり、そのためには、地域の課題を解決する事業の模索とSNS等を活用した事業の広報、併せて職員の積極的な研修への参加が不可欠だと考えている。地域のロビーであり、集会所でもあり、そして地域のみなが学ぶ社会教育の場として、地域住民が「つどい」、「学び」、そして「結び・つなぐ」そんな地域に根差した公民館を目指したい。





公民館の取組概要・経過

- 昭和62年6月1日、旧花川中学校を石狩町公民館花畔分館として開館
- 平成5年9月22日、石狩町本町公民館閉館に伴い、本館となる
- 今年度で第33回を迎える公民館まつりには約30団体が参加
- 開館当初から公民館主事や社会教育主事を積極的に配置し、様々な講座を実施
- 現在公民館を拠点に活動している団体の多くは公民館講座をきっかけに発足
- 平成21年に市民ボランティアと市教委が協働で講座を運営する「いしかり市民カレッジ」が発足
- 築50年を超える古い建物だが、多くの市民に愛され、年間利用者は常に2万人前後を推移する重要な**生涯学習の拠点**

取組による成果や効果、大切にしていること

上記取組を通じ、次のような成果があった。

- いしかり市民カレッジは今年12年目を迎え、主催した講座には延べ1万9千人が受講
 - 参加者が運営委員になり講座を企画するなど学びのサイクルを構築
- # 市民自らが企画・運営する # 生きがいつくり**
まちづくり # 人づくり
誰でも何時でも学ぶことができる

都道府県名	北海道	公民館対象人口	58221人	インターネット接続環境	有
市区町村名	石狩市	建物設置年月日	昭和62年6月1日	来館者利用可能PC台数	0台
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1554人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 19888人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 1360人	計	22802人
職員数	<input type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 25人	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任 6人 <input type="checkbox"/> 職員のうち社会教育主事有資格者の数 2人	<input type="checkbox"/> 非常勤 1人	計	32人
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (社会教育委員の会議)				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用 <input type="checkbox"/> その他 ()				
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (館内に国際交流協会があり、公民館まつり等に交換留学生が出演。)				
各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 ・NPO法人石狩市文化協会 (市民文化祭や俳句コンテスト等で連携・協働している) ・サイエンスアイ (北海道大学名誉教授で構成されている団体、子どもの体験活動を共催している) ・北海道大学 (サイエンスアイとともに子供の体験活動に協力してもらっている) (ほか)				

石狩市公民館

OPEN 9:00~22:00 (休館日：火)
TEL 0133-74-2249

H P _____
SNS _____



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

【いしかり市民カレッジ】

●平成21年4月、市内で生涯学習を推進する二つの市民ボランティア組織と市教委が協働で運営する「いしかり市民カレッジ」が発足。

●目的は、学びを通して市民の生きがいを高め、まちづくりや人づくりに貢献することであり、誰でも何時でも学ぶことができ、自ら講座を企画したり教えたりできる新しい学びの場を提供すること。

●平成24年に総務省が地域活性化事業の先進的な事例を選定する「市町村の活性化施策77事例」に選定。市民ボランティアと行政の協働活動が効果的に機能し認められたといえる。

●市民が講座を企画・運営することにより、参加者のニーズに合った様々な分野の学びを提供。

●交流会を定期的に行い、参加者や講師とのつながりも大切にすることで、単に運営側と参加者側となることなく、関わるすべての人たちが講座を作り上げている。

【シニアプラザはまなす学園】

●昭和56年に前身の「楽生学園」が発足し、名称やシステムを変更しながら40年続いている高齢者大学。

●午前に講座、午後には合唱・リズムダンス・パークゴルフ等のクラブ活動を行い、継続した学びと参加者同士の交流がメインの生きがいづくり事業。

●毎年、道内各地を訪れる社会見学は大変好評であり、また、音楽・映画・手話・歴史等、様々な分野の講座も開催。



上図 いしかり市民カレッジ10周年記念講演

下図 はまなす学園社会見学



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- 「いしかり市民カレッジ」を通して、石狩というまち、歴史等を知ってもらう機会が増えた。
- 講座からサークル化し今までかかわることのなかった市民同士がつながりを見せている。
- はまなす学園がまさに生きがいとなり、主体的な活動が実現している。

これまでの取組全体による成果・効果

- まちの人口は減少しているが、公民館の来館者数や社会教育関係団体の数は大きく減ることなく推移していることから、公民館での活動が生活の一部になっていることが窺える。
- 公民館利用団体の多くは過去に行なった公民館講座をきっかけに結成した団体である。



はまなす学園懇親会にて、学園活動で学んだリズムダンスを披露している風景

取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- 公民館運営審議会の役割も担っている社会教育委員の会議は年3回開催され、最前線で社会教育活動を実践している方、地域の中核を担っている方、有識者等、多種多様な人材で構成されているため、地域課題や公民館の運営に具体的な助言や提案をしてもらうことができている。また、社会教育委員自らが地域に足を運び、市民の声を聞き、行政と市民をつなぐ重要な役割も担っている。
- 公民館利用者との関係性は非常に密で、気軽に意見や相談ができる施設になっている。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

- 平成20年から公民館内に社会教育課が配置され、社会教育主事が公民館事業に携わることで、時代とともに変化する社会教育に対応
- 事業に携わる方が定着化しているため、SNSやホームページを活用し、働く世代に向けても積極的に発信

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

- 笑顔**があふれ、親しみのある公民館
- 多くの市民が**集い、学び、交流**できる環境づくり
- 利用者の**生きがい**づくり
- 地域活性化のための**つながり**づくり
- まちを支える人材づくり
- 継続した学びを提供するための**情報**収集

最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

- ・少子高齢化が進み、公民館の役割も時代とともに変わりつつある中で、高齢者の生きがいづくりや集いの場となることが重要であると同時に子供の笑顔があふれ、世代間の交流が行われふるさとの文化や芸術等を次世代に引き継ぐことが大事である。
- ・誰でも気軽に訪れることができ、そこでできた新たな仲間と生涯学び続けることができる環境の整備をする。
- ・様々な公民館講座からサークル化を目指し、公民館活動がさらに活発になるよう、社会教育主事（公民館主事）が率先して講座を企画し開催する。
- ・いしかり市民カレッジが中心として生涯学習の推進を図る。



公民館の取組概要・経過

- きっかけ
 - 平成17年、中里町と小泊村が合併し中泊町が誕生
 - 1町1村の異なった公民館の運営方法、地理的環境（飛び地）
 - 少子高齢化への対応（ひとづくり、まちづくり）が急務
- 取組
 - 講座で学びを深めた町民を講師として活用（学習成果の活用、地域人材の発掘）
 - 地域を元気にするイベントを開催（雪灯籠づくり体験会をなかどまり冬まつり内で実施）
 - 学習講座の充実と地域活動の推進
 - ・各年齢層のニーズに合わせた学習講座
 - ・地域活動に取り組む若手グループの支援

取組による成果や効果、大切にしていること

- 上記の取組を通じて、以下の成果を生み出すことができた。
- 地域住民の学習意欲及び地域づくりへの意識の向上
 - 公民館講座で学んだ地域住民が、放課後子ども教室や地域学校協働活動の講師としても活躍
 - 若手グループによる地域活動が始まる
 - # 住民ニーズ # 住民同士のつながり # 平等に学ぶ機会
 - # しかけづくり

都道府県名	青森県	公民館対象人口	10689人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	中泊町	建物設置年月日	昭和47年	来館者利用可能PC台数	0台	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 3363人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 6077人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 1240人	計	10680人	
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任 1人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人	計	4人	
職員のうち社会教育主事有資格者の数	0人					
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (広域での複数の公民館運営)					
各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 (中里小学校、薄市小学校、武田小学校、中里中学校、小泊中学校、町民課、福祉課、若者・青年団体、町内企業、弘前大学)					

中泊町中央公民館

OPEN 9:00~21:00
TEL 0173-57-2341

H P _____
SNS _____



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

- 講師は可能な限り町民を活用
地域住民の学習ニーズを把握し、各地域住民にあった学習講座等を企画している。また、講座で学びを深めた町民を新たな講座の講師として活用することにより、学習成果の活用や地域人材の発掘に生かされるだけでなく、町は合併後の町民相互の交流を図るきっかけにもなっている。
- 地域を元気にするイベントを開催
冬のやっかいものである雪を活用した「雪灯籠づくり体験」を、なかどまり冬まつり内で実施してまつり全体を盛り上げる等、各種イベントと連携した講座を行っている。
- 学習講座の充実
各年齢層のニーズに合わせた学習講座を充実させている。
・寿大学…寿大学大運動会を地域内の中学校体育館で開催し、中学生との世代間交流を行っている。
・少年少女発明クラブ…ロボットコンテストに参加するためのロボットづくりや理科実験教室を通して、子どもたちがモノづくりの楽しさを味わい、科学的な見方や思考が養われるようにしている。
- 地域活動の推進
公民館職員が、若手グループの会議に参加して助言するなど、活動が継続するよう支援している。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- 地域住民の学習意欲及び地域づくりへの意識の向上
- 公民館の講座で学びを深めた町民が、放課後子ども教室や町内の小・中学校で行なわれている地域学校協働活動の講師等としても活躍
- 若手グループによる地域活動が充実…ハロウィン祭りなどのイベントを開催

これまでの取組全体による成果・効果

- 商工会、町等が企画するイベントの相乗効果により、町が活性化



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- 公民館事業の参加者へのアンケートを実施し、次回の講座内容等の改善に生かしている。
- 公民館運営協議会（学識経験者、社会教育関係者 10名）を年間2回開催し、事業の評価及び次年度の事業計画について、委員からの意見を取り入れている。
- 社会教育委員等、幅広い地域住民からの感想や意見をもとに、PDCAサイクルを機能させた事業運営を行っている。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

様々な工夫を図っているものの、人口減少や高齢化が進み、各講座への参加人数は減少傾向にある。そこで、若者が参加してみたいと思える事業の企画や、親子教室等をさらに充実させ、今まで参加したことのない町民へのアプローチを図りたい。→若手グループの柔軟な発想やアイデアを取り入れ、今の時代に即した学習の機会を提供していく。（スマホやオンラインなどのICTを活用した事業、ドローン講座など）

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

住民ニーズに即した多様な講座・教室等を企画・開催し、多世代の住民が学び、学びを通して**住民同士がつながり**、地域の活性化が図れるような役割を公民館が担っていくことが大切である。そのためには、町村合併により地域が広域化しても、全地区の住民に**平等に学ぶ機会**を提供することが基本である。さらに住民一人一人の学びが相互につながることで、小さなうねりが少しずつ大きなうねりとなり、地域の活性化へと発展していくものと考えられる。その**しかけづくり**を担うのが公民館の役割である。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

公民館による学習講座に参加した地域住民が、自分の学習成果を生かして、放課後子ども教室や地域学校協働活動の講師としても活躍するようになってきたことから、地域住民と学校を結びつける場所として、公民館の役割が重要である。特に小・中学校での「総合的な学習の時間」、「クラブ活動」等で、高齢者の知識や技能を児童・生徒へ伝える活動は、郷土の良さを知る貴重な学びになると同時に、高齢者の生きがいにもつながっていくはずである。この流れを生かしながら、地域を愛する子ども達が増えるように、地域や学校との連携を図っていきたい。





公民館の取組概要・経過

きっかけ

- 地域活動の担い手不足、地域活動継続への危機感

取組

地域住民、宇部市民センター、NPO法人いわて地域づくり支援センターが連携して、地域づくりの意義等について話し合いをはじめた。

● ふるさと点検

地域にあるお宝（自然、地域性、行事等）について、住民相互に語り合い、地域の現状について認識の共有を図った。

● 宇部の未来を語る

自分たちの理想とするふるさとについて認識の共有を図った。

● 課題解決の検討

地域課題を解決するには自らが動くことが必要であると認識し、そのための取組を開始することとした。

取組による成果や効果、大切にしていること

- 地域課題、理想とする地域の将来像の認識の共通を図った

● 「ふるさと点検」では、地域のことは分かっているつもりでも案外よく分かっていないということを知るとともに、自分たちの住むまちのすばらしさを理解するよい機会になった。

ふるさと点検 # すむ町の魅力の再認識

● 「宇部の未来を語る」では、住むまちの理想像について夢を話す機会が創出されたことは、有意義で楽しい時間であったとの声が多数聞かれた。地域づくりの原動力となることを期待したい。

宇部の未来を語る # 地域づくりの原動力

都道府県名	岩手県	公民館対象人口	2992人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	久慈市	建物設置年月日	昭和50年6月	来館者利用可能PC台数	0台	
運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 (<input checked="" type="checkbox"/> その他 (久慈市))					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 4462人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 3546人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 0人	計 8008人			
職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任 3人 <input type="checkbox"/> 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 3人	計 6人		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (市民センター運営協議会)					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (ふるさと未来づくり事業)	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()					
各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> NPO法人いわて地域づくり支援センターから講師を招き、地域づくりの意義や進め方について学び、取り組みを開始しようとしている。					

久慈市宇部市民センター

OPEN 9:00~22:00

TEL 0194-56-2706

H P <https://www.city.kuji.iwate.jp/>
https://twitter.com/ube_shimin

SNS <https://www.facebook.com/portal.kuji/>



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

人口減少に伴い、地域活動を継続的に維持するためには地域住民が共に支えあって取り組むことの必要性を感じはじめています。

市民センターはその気づきを実行につなげるため、地域づくり、各世代間の交流、地域資源の保護と有効活用の取組について特に力を入れている。

●地域づくり事業（宇部ふるさと未来づくり事業）

「ふるさと点検」…地域のお宝（自然、史跡、行事など）と課題について共通認識を図った

「宇部の未来を語る」…自分たちが望む理想の地域像について語り合った

「取組活動の実践」…理想の地域像について、どうしたら実現できるかに向けて取り組んでいる

●世代間交流、伝統継承、地域資源の保護と有効活用を目的とした事業

「宇部の小正月」…みずき団子飾り、郷土食八杯汁のおふるまいなど伝統継承を目的に実施している

「敬老の日に花を贈ろう」…子どもたちが種から育てた花に手紙を添えて地元高齢者に贈っている

「花いっぱい運動」…子どもから高齢者まで各世代が集まってプランターに花を植え道に飾っている

「ゴマジミ観察会」…希少生物保護と環境学習を目的にボランティア団体等と協力して実施している

「世代間マレット交流大会」…地元マレット場を活用し、中学生と高齢者がスポーツを通し交流している

「寿運動会」…高齢者の健康増進を目的に地元保育園児と交流を図りながら実施している



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

●住民主導の地域づくりの取組として若年層による夏まつり実行委員会設立へと動きはじめた。

●子育て世代の女性の参加者が増加した。

これまでの取組全体による成果・効果

●沿岸部2地区、山間部1地区の交流が図られ、話し合いの中で同じ地区内でも山間部と沿岸部の地区毎に取組にそれぞれ違いがあることが分かり、地区内で相互理解が図られた。

●子どもから高齢者の各世代において交流が図られ、特に高齢者からは子どもたちとの交流が楽しく生きがいであるとの声が聞かれた。



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

●市民センター運営協議会（年間2～3回開催）において、毎年、各市民センターの事業目標、重点、事業計画、実施状況等について協議し、地域の特色が、事業の企画・運営に反映されているかどうか評価、検証し、必要に応じて改善に取り組むこととしている。

●また、宇部町連絡協議会総会や宇部町体育協会等の会合への出席、また、事業実施後の聞き取り、地域住民とのコミュニケーションにより成果、課題の把握を行い、自己点検や評価に努め、事業の改善につなげている。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

●全国的な少子高齢化の波が宇部地区にも押し寄せ、若年層の市街地への転出による人口減、高齢者ひとり暮らしの増加が進行している。

●各町内会では、活動者の高齢化、人口減少に伴い、従前の地域活動を維持できなくなる危険性が増大している。

●将来的にも地域活動を継続的に維持するためには、地域全体で支えあう取組が必要であると気づきはじめた。

●今後、地域全体で協議し、自分たちでどう乗り越えていくか、具体的な取組について検討し、実現に向けて努めていく。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

地域住民、関係団体と**連携**しての取組が大切と考えている。学校、PTA、教育振興協議会、地域住民と**連携**して、地域全体で子どもたちを育むという意識のもと健全育成事業の取組を実施している。また地元宇部町体育協会、地域住民と**連携**し、各種スポーツ行事（町民登山、町民ウォーキング、町民ソフトボール大会、町民マレットゴルフ大会、町民ピンポン大会、町民ユニカール大会）を開催して、地域住民の健康増進を図っている。また宇部地区未来づくり事業では、NPO法人いわて地域づくり支援センター、地域住民と**連携**し、地域づくりをテーマに講演会やワークショップを開催し、住民主導での地域活動を目指して取組を開始している。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

従前の行政主導による事業実施から、今後は理想のふるさとへの実現のための取組を住民自らが決定し、実施できる体制づくりのサポートに努めていきたい。

また、宇部地区の地域づくりが安定的に持続していくため、将来活動の核となる若年層の人材育成が重要と考えており、地域行事へ勧誘、小さな行事での成功体験を積み重ね、地域を担う自信を獲得させるといった人材育成にも努めていきたい。





第22回 **寺田** コミセンまつり

盛岡文士館のレジェンド★ 畑中美耶子さん

テレビ番組「山海漬」のナレーターでおなじみ！ 小野寺 瑞穂さん

8(日) 寺田喜劇団講演
楽しい市立病院物語
▶時間 13:30 ~ 15:50

7(土) 8(日) 外テント販売コーナー
やきとり、ニジマス塩焼き、豆腐田楽、フランクフルト、そば、コーヒー、ごんにやく、わたあめなど販売！

公民館の取組概要・経過

きっかけ

- 少子高齢化、核家族化、支え合いの希薄化
- 地域振興協議会が指定管理者として運営（H26～）

取組

- 自治公民館協議会と連携して自治活動の促進
- **自主防災組織結成促進、防災マップ作成・配布**
- **スノーバスターズ（雪かきボランティア）**
- 小学校と連携し運動会を合同開催へ（CSで検討）
- **寺田コミセンまつりの開催（寺田喜劇団の発表）**
- 伝統芸能の保存・伝承活動への支援
- 七時雨山や鹿角街道の環境整備
- 広報活動の推進（コミセンだより、フェイスブック）
- サークル、NPO、企業等との連携促進

取組による成果や効果、大切にしていること

主な成果

- 利用者の増加、利用者の年齢層拡大
 - 地域課題（防災、孤立）への取組が具体化
 - 学校、団体等とのネットワークの拡大・強化
 - コミセン事業、地域活動の成果の周知
 - 地域住民としての一体感の醸成
- # 地域課題 # ネットワーク # 地域資源 # 成果の周知
住民としての一体感

都道府県名	岩手県	公民館対象人口	1934人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	八幡平市	建物設置年月日	平成5年4月1日	来館者利用可能PC台数	0台	
運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者（寺田地域振興協議会） <input type="checkbox"/> その他（ ）					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 3958人 <input type="checkbox"/> その他 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 5322人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等	0人	計	9280人	
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 3人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	<input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 4人	0人	計	7人	
予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他（ ）					
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他（寺田地域振興協議会総会・役員会）					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他（ ）					
各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 七時雨ロマンの会、NPO法人七時雨いきいきネットワーク、老人クラブ、グラウンドゴルフ愛好会、七時雨俳句会、寺田小学校、西根第一中学校、三研ソイル（企業）、八幡平市地域振興課（市役所）等					

八幡平市立寺田コミュニティセンター

OPEN 9:00~21:00
TEL 0195-77-2024

H P _____
SNS _____



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

- 地域防災や健康・福祉の観点から、防災マップの作成・配布、スノーバスターズ（雪かきボランティア）の活動を行っている。地域全体で100名以上の登録があり、高齢者世帯や障害者世帯の大きな手助けとなっている。
- 毎年3月に行われる「寺田コミセンまつり」は、地域の20以上の団体が舞台発表や作品展示に参加する一大イベント。中でも、15年以上続く『寺田喜劇団』による特別公演は、地元の子供から大人まで多くの住民が参画して創り上げるオリジナル演劇で、出演者と観客が一体となって盛り上がるコミセンまつり最大の目玉である。
- 小中学校のコミュニティ・スクールがスタート。センター長も学校運営協議会委員として参加し、地域学校協働活動の見直しを進めている。今年度は、地区の運動会と小学校の運動会を合同開催する予定だったが、新型コロナの影響で見合わせとなった。
- 活動写真を多く取り入れたコミセンだよりやフェイスブックにより、年間を通じて事業の成果を地域に発信することに力を入れている。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- 利用者の増加、利用者の年齢層拡大
- 学校、団体等とのネットワークの拡大・強化
- 地域住民としての一体感の醸成

これまでの取組全体による成果・効果

- 地域課題（防災、孤立）への取組が具現化
- コミセン事業、地域活動の成果の周知



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- 寺田地域振興協議会 総会（年1回）役員会（年3～4回）を実施し、事業内容や運営について意見をいただき、それらを事業に反映できるように努めている。
- 自治公民館長協議会とも連携をもち、地域の声を吸い上げるようにしている。
- 若者の意見を取り入れるため、寺田地域独自にスポーツ推進委員を設け、若者の参画を進めている。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

- 地域の子供、親の数の減少もあり、事業への参加者も年々減少傾向にある。既に近隣の地域から参加いただいている事業もあり、今後も、寺田地域の子供だけではなく、近隣の地域にも参加を呼びかけていく予定である。他地域に参加を呼び掛けたり、他地域と交流したりするなど、効果的な事業の在り方を考えていく。
- 若者の意見を取り入れるため、寺田地域独自にスポーツ推進委員を設け、若者の参画を進めている。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

- 寺田の**地域資源（自然、歴史、文化）**を継承し、**後世へつなげていく**こと。
- **時代と環境に適応したまちづくり**を推進し、一人でも多くの人が「**寺田に住んで良かった**」と**幸せを実感できる地域**を上げること。
- **一人ひとりが輝き、活気と愛着のある、やさしい地域づくり**を目指すこと。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

- 寺田地域には、美しい七時雨山や鹿角街道があり、宿場街として、また奥州33観音の32番札所である白坂観音堂がある聖地として栄えてきた。こうした豊かな自然や歴史から生まれた文化を大切に後世につなぎ、寺田オリジナルのものをコミュニティセンターの事業として創っていきたく考えている。



人と人をつなぐ、笑顔溢れる生涯学習拠点を目指して

富谷市成田公民館



公民館の取組概要・経過

きっかけ

●富谷市では、各公民館を拠点として市民の生涯学習活動の環境づくりを進めてきた。生涯学習の活性化と充実を目指し、地域の一人一人が得意分野を生かしながら、自分らしく生活できるよう、公民館が人と人をつなぐハブとしての役割を担ってきた。また、地域が笑顔であふれるようにサポートしていくことが公民館に求められる重要な役割ととらえ、生涯学習施策の柱として取り組んできた。

取組

- 当館登録サークルは5名で登録可(市内在住者過半数含)
- 地域の方が趣味や特技の披露ができる公民館まつり
- 市民が無料もしくは気軽に参加できる価格での講座
- 託児ボランティアによる月1度の子育てサロン
- 読み聞かせボランティアによる月1度の読み聞かせ会
- 300台の駐車スペース、土足入館できる環境
- 1～2か月無料で展示ができる「小さな小さな美術館」
- 随時参加登録が可能なハブボランティア
- 地域・学校・家庭をつなぐ地域学校協働活動の取組

取組による成果や効果、大切にしていること

- 来館者数延べ49,549名(令和元年度)
- 年1回の公民館まつりにて約4,000名(平成30年度)
- 図書室年間利用者数が富谷市公民館内で最も多く(H29～R元)、富谷市図書館(仮称)が当館併設により建設予定。富谷市内の小中学校で積極的に上位入賞を目指す「図書館を使った調べる学習コンクール」に寄与(全国表彰を受けた実績)
- 公民館が地域と学校のより確かな連携サポート実績
#好きなこと探し#癒しのある生活#気の合う仲間とつながる#誰かを喜ばせることで喜びを#支える#コロナ禍を受け入れる

都道府県名	宮城県	公民館対象人口	9314人	インターネット接続環境	無	
市区町村名	富谷市	建物設置年月日	平成14年11月1日	来館者利用可能PC台数	0台	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 793人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 4650人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 43508人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 598人	計	49549人	
職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任 6人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人)	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 5人	計	11人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他(富谷市社会教育委員会)					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> その他 芸術文化振興(市文化協会主催「風薫る富谷文化まつり」、市芸術協会主催「富谷市芸術祭」、美術館スペース「小さな小さな美術館」)	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (富谷市役所成田出張所) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (屋上緑化ハブガーデン、300台の駐車場)					
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (成田小学校、成田東小学校、成田中学校、富谷高等学校、成田地区町内会、富谷市、富谷市教育委員会、ふうどぱんく東北again、富谷市シルバー人材センター、宮城大学、市内各団体)					

成田公民館

OPEN 8:30～21:00

TEL 022-348-3955

HP <https://www.tomiva-city.miyagi.jp/soshiki/syogaigakusyu/naritako.html>

SNS



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

- ハーブボランティア活動（公民館サークル）
公民館サークル活動として、開館以来16年間、当館2階屋上緑化ハーブガーデンの維持管理を兼ねて、地域のボランティア（ハーブボランティア）の方々に協力をいただいている。登録人数は約30名で男性の方も活動しており、アドバイザーにはハーブのスペシャリストを招いている。草取り、土入れ、植栽等の維持管理の他にも当館施設を利用し、ハーブクッキングやハーブの作品作りをしており、ハーブを深く学び、ボランティア同士の親睦と仲間づくりを進める機会としている。また、毎年10月に開催する当館まつりでの「ハーブオープンカフェ」やハーブを用いた体験コーナーの運営、一般の方々にハーブ石鹸の作り方等を教える公民館講座なども開設するなど活発な活動を展開している。
- 富谷市地域学校協働本部事業（富谷市地域・学校・家庭をつなぐ取組）
富谷市内全5地区に本部を設置し各々特徴的なテーマを設けている。成田地区のテーマは『音楽で心を重ねよう』とし、平成21年度より、学校支援ボランティア“キッズ応援隊”のみなさんと学校のニーズに応えながら様々な活動をしている。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

ハーブボランティア活動

- 公民館として、ハーブガーデンの維持管理を継続的に進めることによって、施設の美化を保てるようになった。また、新たなハーブガーデンの活用も生まれた（料理、ポップ、ハーブティー講座等）。
- ボランティア活動において公民館も積極的に支援することにより、相互のつながりが拡充され、また、様々な学習知識の取得、技能の向上、人間関係の深まり等、地域の活性化へ結びついている。

富谷市地域学校協働本部事業

- 成田地区テーマの音楽をとおして、子供たちの豊かな学びと、学校支援・地域の絆が深まり、一人一人の生きる幸せづくりに効果が表れている



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- ハーブボランティア活動…毎月2回の定例の集まりにおいてのミーティングを行い、アドバイザーの方とも十分な指導をいただきながら活動を振り返り、反省と新たな取り組みなどを常に情報交換と共有を図り検証を行っている。また、公民館職員とも情報を共有し、支援をいただく内容などを共有している。
- 地域学校協働本部事業における成田地区の活動…本部会議を年3回開催し、地域教育協議会においての取組に対する報告、改善点、提案等、多様な意見交換を本部員と話し合っている。また、協議内容を踏まえ、検証をくわえ、今後の取組の改善策や、地域の様々な立場からの意見をいただけるよう努力している。（アンケートや聞き取り調査の実施等）

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

- 成田公民館で活動している、ハーブボランティアをはじめ様々な団体活動についての多くはリピーターの方である。固定された方々だけではなく、新たな人材の発掘が望まれる現状である。このような状況の中、月1回発行している「公民館だより」等でボランティア活動や講座の様子などを掲載し、積極的に情報提供を行い、合わせてボランティア募集の声掛けなどを行っている。また、実際にボランティア活動をしている方をお願いをして、近所の方々に誘っていただく人海戦術なども実施。その結果ボランティアへの参加人口が徐々に増加の傾向にある。
- 地域学校協働本部事業については、今後、コミュニティ・スクールとの両輪となることが望まれており、現在、研究調査を行っている。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

- 成田公民館は約300台の駐車スペースがあり、また、市役所出張所を備えるなど、地域住民も含め、老若男女様々な方が多く利用されている現状にある。地域の特性を生かし、多様なニーズに偏りなくできる限り対応していくことが**地域の公民館としての役割**。何ができるかを常に念頭に置きながら、地域の方々の生涯学習の拠点になる**居場所作りを今後も展開**していきたい。
日々楽しく学び活動ができ、「ああ、今日も公民館に来てよかったなあ」と感じられる公民館でありたい。
- 地域学校協働本部事業は、これまでの実績により十分基礎は整っているため、学校の組織運営を早期にコミュニティ・スクールへ移行することにより、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支え、さらにボランティア活動の活性化にもつながると考えている。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

コロナ禍の昨今、公民館の運営も大きな局面を迎えていくと思われる。ステイホームにより地域の人々が集まる場所に人の影が途絶えたことにより、改めて地域の公民館としての役割の重要性を再認識させられた。今後は、新しい生活様式のもとに、様々なコロナ禍での対策を行ないつつ、更なる学びの提供、新しいニーズに柔軟に対応できるプランニングの作成をすることが重要であり、その上で公民館職員が地域の公民館の役割を再確認し「誰でも気軽に安心してくることができる公民館」を構築していくことが不可欠であると考える。利用しやすい公民館運営に向けて、管理計画に基づく学習拠点施設・設備の計画的な整備と機能の充実を図り、人生100年時代と新しい生活様式を踏まえ、個人の生きがいづくりはもとより、世代を超えた交流や地域の活性化に大きな役割を果たすために鋭意取り組んでいく。





能代の歴史講座（市民学校）



中・高生ボランティア育成講座

公民館の取組概要・経過

きっかけ

- 利用者の固定化
- 受動的な学び
- 地域課題への対応
- 指導者等を含めた後継者育成や若者の利用促進

取組

- 参加対象者に応じた周知方法を選択
- 市民の自主的な活動を促す「市民学校」の継続実施
- 地域課題について考える「知っ得講座」の実施
- 地域活性化につながる地域行事等と、関連する自主学習グループとの連携をコーディネート
- 中・高生ボランティア育成講座等、若者の人材育成や各事業への活用
- 障害のある方々も参加できる体験活動や講座の実施

取組による成果や効果、大切にしていること

- 市民学校での学びを経たのち、自主学習グループを形成したことにより、継続的な学習につながった。
- 公民館事業や地域行事等での自主学習グループとの連携により、知の循環が図られた。
- 中・高生ボランティアの育成と伝統文化継承グループとの共働により、世代間交流等が生まれ、事業が活性化した。

都道府県名	秋田県	公民館対象人口	43274人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	能代市	建物設置年月日	昭和55年9月12日	来館者利用可能PC台数	0台	
運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者（NPO法人能代市芸術文化協会） <input type="checkbox"/> その他（ ）					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2775人 <input type="checkbox"/> その他 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 10162人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 3146人	計	16083人	
職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任 8人 <input type="checkbox"/> 職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人	<input type="checkbox"/> 非常勤 0人	計	8人	
予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他（ ）					
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他（ ）					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他（能代市文化会館） <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述（図書館と隣接し、市内最大のホールを有する文化会館と複合した能代市の芸術文化の拠点）					
各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 能代山本障害者就業・生活支援センター、能代支援学校、秋田大学、NPO法人能代市芸術文化協会、NPO法人能代市体育協会、秋田県、能代市、能代第一中学校、能代第二中学校、東雲中学校、能代東中学校、能代南中学校、能代高校、能代松陽高校、能代西高校、能代工業高校、二ツ井					

能代市中央公民館

OPEN 9:00~22:00

TEL 0185-54-8141

HP <http://www.shirakami.or.jp/~noshirobunka/>

SNS <https://twitter.com/noshirobunka>





特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

「学びを通して、人と人がつながり、関わりを広げる共生社会の創出を目指して」

- 市民の自主学習グループを育成するために、昭和40年から「市民学校」を開設し、歴史や手芸等、様々なテーマで市民に学びの機会を提供している。現在能代市の自主学習グループは288団体あり、平成21年からの10年間だけで60を超える団体が新規登録している。本公民館の長年の取組が、市民の主体的な学びを広げる一助となっている。
- 近年、市民のニーズに応じた講座だけでなく、「知っ得講座」を開設し、地域課題について考える機会を提供することで、特産品研究や子どもの貧困等を取り上げる団体の登録も見られてきている。
- 家庭教育、青少年教育、成人教育、高齢者教育、コミュニティ活動、文化活動に関する6つの事業を展開する中で、自主学習グループとの連携を図りながら、学びを通じた市民の交流を促進したり、地域行事等へ関連団体をコーディネートしたりしている。また、講座実施により育成した中・高生ボランティアや講座関係者ボランティアを活用しながら、世代間交流の促進にも努めている。
- 障害のある方々も興味をもち、参加しやすい体験活動や講座等、生涯の学びについて考える機会を設定している。また、障害の有無に関わらず、広く参加者を募集することで、障害者と健常者の交流の促進に努めている。



切り絵教室(市民学校)

公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。(できれば箇条書きで)

特徴的な取組による成果・効果

- 学びの場を幅広く提供することで、市民の主体的な学びにつながった。
- 公民館事業や地域行事等での自主学習グループとの連携により、知の循環が図られた。
- 各種ボランティアの育成と活用により、世代間交流が図られ、事業等が活性化した。
- 障害の有無に関わらず、広く参加を呼び掛けることで、障害者と健常者の交流が図られ、相互理解が進んだ。

これまでの取組全体による成果・効果

- 公民館活動を通じた市民同士の交流が、公民館祭や地域行事である「のしろまち灯り」「のしろこどもまつり」「のしろ出会いのコンサート」等への積極的な協力が結び付き、参加者の増加につながっている。



のしろこどもまつり

取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- 公民館祭、市民学校、知っ得講座、地域共生ふれあい活動等、公民館で行われる様々な事業について、その都度、参加者や関係団体を対象としたアンケート調査を実施したり、改善意見を集約したりして、次回の事業に生かしている。
- 公民館運営審議会を年2回開催し、実施事業の参加人数や参加者の感想、アンケート結果等を基に取組の検証・評価を行い、課題事項の改善に努めるとともに、次年度の事業計画に反映させている。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

他県より地域の高齢化が進んでいることもあり、公民館講座の参加者は必然的に高齢者の割合が高く、若い世代が少ない傾向が続いている。若い世代を対象にした講座は企画実施しているが、参加者が思うように増えず、その都度ニーズや学習課題の分析に苦慮している。

そのため今後、自主学習グループや学校、地元企業、ハローワーク等と連携し、地域の若者のニーズ調査をしたり、SNSを駆使し他館の活動状況や地域の情報をリサーチしたりすることで、地域の実情に合った事業展開をしていこうと考えている。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。(キーワードは赤字)

公民館は、**地域住民の誰もが利用**でき、学習活動の**集いの場**であるべきであり、老若男女や障害の有無を問わず利用される施設と考えている。それぞれの立場の利用者が利用しやすい公民館を目指し、**相手の目線**に立った公民館運営をすることが大切だと思っている。

居心地の良い公民館をつくるには、利用する人の思いを大切にすることが重要である。当館では、ロビーにアンケート箱を常時配置し、直接職員に言いにくい事など、気軽に意見を寄せてもらえるようにしている。

また、事業面では、乳幼児から高齢者、障害者等、それぞれのニーズや対象に合った講座を企画し、参加対象者に偏りが出ないように工夫している。



ロビー設置のアンケート箱

最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

平成30年度から障害者の生涯学習に取り組んでいるが、今後も、市民グループ等と連携した障害者学習支援等に取り組みながら、公民館を拠点として、老若男女、障害者、健常者に拘わらず、全ての地域住民が学ぶ機会をもち、住民同士の学び合いの中から、知の循環、知の継承が図られる共生社会の創出に一層取り組んでいこうと考えている。



障害者学習支援講座

誰もが立ち寄ってみたいくなる地域の拠点

横手市十文字西公民館



ワークショップでの意見交換



ゲームを通じた地域間交流

公民館の取組概要・経過

〈背景〉

- 少子高齢化に伴う人口減少及び一人暮らし世帯の増加
- 地域間交流の減少（失われつつある伝統文化）
- 公民館利用者の減少

〈取組〉

- 館報の定期的な全戸配付による事業の啓発
- 地域住民による交流センター事業の企画運営
- 保育園や小・中学校及び関係機関との連携
- 地域住民対象の地域づくりワークショップを開催

取組による成果や効果、大切にしていること

〈上記の取組による成果〉

- 公民館来館者が増加した。
- 地域間の交流が深まり、つながりが強くなった。
- 地域課題を理解したうえで必要な事業を開催できた。
- 自治意識が高まった。

- # 気軽に立ち寄れる魅力ある公民館 # 憩いのスペース
- # 豊かな学び # アンケート調査の結果を参考
- # つながる喜び # 地域活性化員を配置 # 世代間交流

都道府県名	秋田県	公民館対象人口	4376人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	横手市十文字町	建物設置年月日	平成4年4月1日	来館者利用可能PC台数	0台	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 729人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 4589人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 0人	計 5318人			
職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ()	<input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人	計 2人			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (生涯学習推進計画評価委員会が審議)					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (農村環境改善センター) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (植田と睦合の2つの地区の中間に位置する立地条件であり、人が集まりやすい。)					
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (にしの杜保育園、植田小学校、睦合小学校、十文字中学校、秋田県南NPOセンター、横手市社会福祉協議会、JA女性部、横手市教育委員会、横手市十文字地域局、横手市体育協会十文字支部、十文字地方史研究会、介護福祉施設花むつみ)					

横手市十文字西公民館

OPEN 9:00~22:00

TEL 0182-44-3100

H P _____

SNS _____



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなど合わせて教えてください。

●地域住民による交流センター事業の企画運営

住民が主体的に企画運営を行う「交流センター事業」を推進するため、自主運営組織「十文字西地区交流センター運営協議会」を設立した。重点施策として「将来を担う子どもとの触れ合い」「高齢者の生涯現役」「女性力の活用」「地域の拠点」を掲げ、〈文化教養〉〈安心安全〉〈健康福祉〉の3つの大きな事業を企画運営している。

●保育園や小・中学校及び関係機関との連携

保育園、小・中学校、福祉施設、サークル団体等と連携した世代間交流事業の実施。活動内容としては健康福祉や防災等の体験学習、芸術鑑賞等を通じ、子どもたちと地域住民が触れ合いながら交流を深めている。

●地域住民対象の地域づくりワークショップを開催（H30・R1）

少子高齢化に伴う人口減少等の地域課題を解決するため、2年間にわたり8回のワークショップを実施し、地域の課題を深掘りした。「ピンチをチャンスに変えよう」を合言葉に、その結果を交流センター事業に反映している。



世代間交流事業



ワークショップでの意見発表

公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

●公民館来館者数の増加 ●防災等の自治意識の高まり

●地域課題を把握したうえで必要な事業を企画運営

●関係機関との連携によるスムーズで充実した事業の実施

これまでの取組全体による成果・効果

●住民のニーズに応じた事業の実施により、誰もが立ち寄ってみたいくなる「魅力ある公民館」に近付きつつある。



危機管理への救命対応

取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

●自主運営組織の総会（年度初め）及び役員会並びに各事業推進班会議を事業前後に実施している。

●事業ごとの参加者アンケート調査及び公民館報を活用して、地域住民の意見聴取を行っている。

●自主運営組織の中に運営アドバイザーや相談員を置き、アドバイスを受けている。

●横手市の生涯学習推進計画評価委員会による事業評価を改善につなげている。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

●事業を委託している自主運営組織の委員任期は2年単位だが、途中で交代を希望する場合があります、新たな委員の選出に苦労している。地域づくりに意欲のある人材への呼び掛けで対応している。

●突発的なコロナ禍における事業運営に苦労しているが、感染症対策を図りながら、地域住民の心の安心と新しい生活様式を浸透させるための情報を、館報等で発信することで対応している。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

●住民に必要とされ、**気軽に立ち寄れる魅力ある公民館**を目指し、将来にわたり安心して暮らし続けることのできる地域づくりに貢献する。

●公民館事務局と自主運営組織が各事業ごとに**アンケート調査の結果を参考**にし、更なる事業の充実に生かしている。

●公民館と各自治会をつなぐ役割である**地域活性化員を配置**し、地域の情報を得ている。



知恵とパワーの「交感」

最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

●施設の整備及び利用者のニーズに対応し、より便利で心地よい施設にしていきたい。

●少子高齢化や人口減少社会から人生100年時代に向け、「高齢者への対応から子どもたちを主役にした持続可能な社会」を創り上げることにシフトチェンジすることを意識して運営していきたい。



高齢者と子どもの共同作業

地域の絆づくりと世代間交流の場

秋田市西部市民サービスセンター



西部地区世代間交流会事業(餅つき)



「新屋の名人さんに学ぼう」事業(フォークダンス)

公民館の取組概要・経過

きっかけ

- 平成21年に、旧新屋支所と西部公民館を合築し、市民協働・都市内地域分権の拠点施設としてオープン
- 地域内での世代間交流の希薄化
- 地区内小学校における地域人材の活用

取組

- 地域資源を活かし、乳幼児から高齢者までそれぞれのライフステージに応じた学習機会(講座)の提供
 - ・「秋田鈴木杖大学」(高齢者大学)
 - ・「真砂婦人学級」(女性教育)
 - ・「のぞみ学級」(障害者教育)等
- 学習成果を発表する「ウエスターまつり」
- 西部地区世代間交流会事業の実施
- 「新屋の名人さんに学ぼう」事業の実施

取組による成果や効果、大切にしていること

- 世代間交流による地域の絆の創出
 - 高齢者の生きがいの場の提供
 - 住民の多様な学習ニーズに応じた各種講座を開催
 - 学習者が学習ボランティアや指導者として活動し、地域への学びの成果の還元
- #住民の学習ニーズを把握 #地域コミュニティづくり
#ライフステージに応じた学習機会の提供 #世代間交流会

都道府県名	秋田県	公民館対象人口	34734人	インターネット接続環境	有
市区町村名	秋田市	建物設置年月日	平成21年5月7日	来館者利用可能PC台数	0台
運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 (西部地域住民自治協議会) <input checked="" type="checkbox"/> その他(市長部局)				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 3680人 <input type="checkbox"/> その他 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 52625人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 1416人	計 57721人		
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 17人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任 8人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人)	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 4人	計 29人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他				
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (西部地域住民自治協議会)				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用 <input type="checkbox"/> その他				
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (子育て交流広場) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (春はあやさくら公園での観桜会、夏は秋田市三大夏まつりのひとつである雄物川花火大会が楽しめる絶好のロケーションに設置されており、あらゆる年代の市民が気軽に立ち寄り、打合せや集会等、市民同士での交流ができることから、子どもから大人まで幅広い年代に親しまれている施設である。)				
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (日新小学校、秋田西中学校、勝平中学校、秋田公立美術大学、西部地域住民自治協議会、秋田市夏まつり雄物川花火大会実行委員会、秋田市子ども未来部、秋田市市民生活部生活総務課、秋田市教育委員会)				

秋田市西部市民サービスセンター

OPEN 9:00~21:00

TEL 018-888-8080

H P <https://city.akita.lg.jp/shisetsu/syuukai/1003924/1006667.html>

SNS



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

●西部地区世代間交流会事業

公民館時代から、毎年、西部地区の生涯学習奨励員協議会が中心となって、高齢者や学習ボランティア及び町内会と連携し、餅つき、昔語り、「やまはげ」等の体験事業や、笹巻きづくり等を実施し、高齢者と子ども、親子の交流に力を入れている。

特に、餅つき体験では生涯学習奨励員と子どもたちが一緒に餅つきを行い、大人と子どもが一体となり盛り上がる楽しい時間となっている。平成31年度は地域内にある古民家の渡邊幸四郎邸において実施し、昔ながらの雰囲気のある餅つきとなった。また、昔語りは講師の巧みな語りに、参加者全員が熱心に聞き入り、世代を超えた交流が図られる良い機会となっている。



西部地区世代間交流会事業(昔語り)

●「新屋の名人さんに学ぼう」事業

地区内小学校の総合的な学習の時間の一環として、児童と「名人さん」と呼ばれるサークル連絡協議会会員とが、昔遊び等を通して交流する事業を行っている。内容は、大正琴、生け花、尺八、フラダンス、フォークダンス等で、児童からは、「小学生のスピードに合わせ、一人一人丁寧に教えてくれた」「すごく楽しくて時間が短く感じられた。もう一度やりたかった」などの感想があり、好評を得ている。内容は、児童の希望に合ったものにするため、選択肢が増えるようサークル連絡協議会の協力を得るなど工夫・改善しながら実施している。



「新屋の名人さんに学ぼう」事業(大正琴)

公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがあり

特徴的な取組による成果・効果

- 幅広い世代が集う世代間交流会事業の実施により、地域に絆が生まれた。
- 高齢者が活躍できる講座・事業の実施により、高齢者の生きがいの場を創出することができた。

これまでの取組全体による成果・効果

- 参加者アンケート等を活用しながら情報収集に努めたり、学習者が講師になることで、学びの成果が還元されたりした結果、参加者の多様な学習ニーズに応じた魅力的な事業が展開できるようになった。

平成31年度(社会教育事業の点検評価から抽出)	H29	H30	H31
参加者	14人	128人	203人
新屋の名人さんに学ぼう	H29	H30	H31
児童	151人	142人	132人
会員	20人	31人	28人

※平成31年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、事業の中止・縮小あり。

取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- 指定管理者の事業評価を年1回実施している。社会教育事業の点検・評価を行い、社会教育委員の会議で出された意見や提言を翌年度事業に反映させている。
- 各事業実施後のアンケートを講座等の参加者に行い、学習内容に反映させている。
- 市内各市民サービスセンター生涯学習担当者との定期的な会議(年5回程度)により、意見交換や情報共有を行っている他、市民サービスセンター所長による会議(年1回)では、社会教育における取組の方向性等について共有している。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

- 少子高齢化や人口減少等により事業参加者数が全体的に減少傾向にあることから、より魅力ある社会教育事業の推進のため、アンケート等により住民ニーズを把握し、事業内容の改善と充実に努めている。
- 参加者が伸び悩んでいる青少年を対象とする講座等の情報提供方法については、チラシ・新聞の他、SNSやインターネット等を活用していきたい。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。(キーワードは赤字)

- 地域に根ざした活動の支援や**世代間交流会**事業、地域と学校が連携した事業等の実施により、地域の絆づくりに努め、**地域コミュニティ**づくりを推進する。
- 住民の学習ニーズを把握し、ライフステージに応じた学習機会の提供**に努めることで、魅力ある事業を創出する。

最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

- 世代間の交流や関係機関の連携は十分に図られているが、地域への学びの成果の還元について、学習者を積極的に講師・協力者として活用していきたい。
- 地域の方々と講座等の日頃の学習成果を発表する「ウエスターまつり」等を活用し、地域により開かれた、地域に根ざした市民サービスセンターとなるようにしていきたい。



ウエスターまつり

気軽に利用できる皆のための公民館

寒河江市西部地区公民館



公民館の取組概要・経過

きっかけ

- 公民館の利用拡大
- 地域の活性化
- 人口減少
- 少子化に伴う子ども会育成会の運営問題

取組

- 図書室をフリースペース化（Wifi設置）
- 高校生以下への体育館無料貸し出し
- 放課後子ども教室の実施
- 各地区文化祭の充実
- **醍醐地区慈恩寺大晦日花火大会「雪月花」の実施**
- **慈恩寺花火婚の実施**
- 子ども育成会3地区合同事業の実施

取組による成果や効果、大切にしていること

上記の取組を通じて、以下の成果を生み出すことができた。

- 子ども達の施設利用が増えた
- 各事業の参加者増加
- 花火大会の来場者及び協力団体の増加
- 子ども育成会事業の継続
- # 寄り添い # 活動の手助け # 住民の生活の質
- # 豊かな環境づくり # 活動の見直し # 新たな活動

都道府県名	山形県	公民館対象人口	6336人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	寒河江市	建物設置年月日	昭和57年4月1日	来館者利用可能PC台数	1台	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 5216人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 7664人 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 0人 <input type="checkbox"/> その他 ()	計	12880人	
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 4人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ()	<input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> その他 ()	計	4人		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (体育館、運動広場) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (各地区の役員の方や各種団体の長などが相談に訪れることが多い。)					
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (体育協会(高松、醍醐、白岩)、子ども会育成会(高松、醍醐、白岩)、たかまつ保育所、しらいわ保育所、高松婦人会、高松文化協会、醍醐・白岩文化祭実行委員会、老人クラブ連合会(高松、醍醐)、醍醐地区慈恩寺花火大会実行委員会)					

寒河江市西部地区公民館

OPEN 8:30~21:30

TEL 0237-87-1302

H P

SNS

<https://www.city.sagae.yamagata.jp/smph/kurashi/shisetsu/bunkashogaigakusyu/seibukouminkan.html>



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなど合わせて教えてください。

●慈恩寺花火婚

「慈恩寺の花火を別々に観に来た男女がそこで知り合い、交際につながり、結婚した方がいる」という噂がきっかけであった。この婚活イベントは、造語になるが「参加費還元型婚活」という新しい型のイベントである。一般的な婚活では、参加費を払い出会いの場を提供するのが基本だが、慈恩寺花火婚は花火大会運営に従事していただき、それに対して、後日開催の交流会の参加費の一部として還元する。交流会の一部参加費（飲食代）を主催者側で持つこと、2日間にわたって開催することが特徴的な点である。

申込対象は20～40代の独身男女7名ずつの計14名としたが、最終的には枠を広げ男性11名、女性7名の計18名の応募があった。花火大会当日はイベントの手伝いという共同作業を通して相手の人柄を確かめて、そして一緒に幻想的な冬の花火を観ながら年越しをして特別な時間を共有した。また、別日に市内飲食店にて交流会として、花火大会での出来事を酒の肴にして、好意をいただく方にアプローチをする場を設けた。異性の方と話すのが苦手という方でも、共同作業を行うことと花火大会という共通の話題があることで話しやすくなり、交際、結婚へとつながっていただければとの思いがある。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- 婚活で若い世代を手伝いとしていれることにより、実行委員と地区に活気が出た。
- もし成婚となり実行委員として中に入っていたことができれば、担い手、後継者不足も解消できる。

これまでの取組全体による成果・効果

- 各事業において、意見収集を行いやり方等を変えたことで、地区民の理解度が高まった。
- 事業によっては、利用者が増えたものがあった。



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- 年度初めに公民館運営協議会を開催し、今年度の事業の進め方について協議する。
- 各種団体において、事務局として参加し、意見収集及び助言等を行う。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

- 少子化に伴い、各地区（高松、醍醐、白岩）のみでの子ども会育成事業ができなくなってきたので、3地区合同で行える活動等を取り入れた。
- 慈恩寺花火婚を行う上で、役員の方の理解をいただくため、沢山の意見交換を行った。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

人口減少に伴い各種団体の活動にさまざまな問題が出てきている。そういった中で、公民館として積極的に**寄り添い**、意見交換や助言を行いながら、今後の**活動の手助け**をすることが大切である。

また公民館として、**住民の生活**を高め、**豊かな環境づくり**ができるよう、住民の要望を聞き、必要であれば、**活動の見直し**や**新たな活動**を考えていくことも必要である。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

- 利用しやすい公民館となるよう、環境整備や地域住民とのコミュニケーションを大切に、親しみやすい公民館にする。
- 今後も各種団体との連携を強化し、活動の改良点を見出していく。



湊町崎川地区からの猪苗代湖と磐梯山



地域のシンボル 赤井地区の「大いちょう」

公民館の取組概要・経過

- ・会津若松市湊町は人口1,670人で、自然環境に恵まれているが、人口減少と高齢化が進んでいる中山間部の農村地帯にあって地域コミュニティの活力が失われていく危機意識を地域住民が共有している。
- ・地域産業振興、地域の魅力再発見の講座を開催し、活性化に資する試みを行っている。
- ・「地域学校協働本部事業」により、住民が自主的・主体的に学校教育に協力しており、学校側も支援を受けるだけでなく、地域貢献の一翼を担う活動を行っている。
- ・地域団体と連携して各種イベントを開催し、幅広い広報活動により交流人口の増加と住民の意識高揚に努めている。

取組による成果や効果、大切にしていること

- ・月1回発行の地区内全戸配布の「公民館だより」と併せて地域インターネットツール「みなとチャンネル」による広報や、新聞、テレビ、ラジオ等に度々地域イベントや情報が取り上げられることで住民が湊町に誇りを持てる機会が設けられるよう努めている。
- ・「#住民自らの自主的・主体的な取組み」とともに、事業の目的と理念を明確にすることによって、参加者全員が共有し、「#地域への誇りと帰属意識を高める」ことを目指している。
- ・令和元年度の開館日数は359日で、年末年始を除き多くの住民が公民館を活用している。

都道府県名	福島県	公民館対象人口	1670人	インターネット接続環境	有
市区町村名	会津若松市	建物設置年月日	平成13年1月21日	来館者利用可能PC台数	1台
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 775人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 5,481 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 638人 <input type="checkbox"/> その他 ()	計	6,894
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任 1人 <input type="checkbox"/> 職員のうち社会教育主事有資格者の数 2人 ()	<input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> その他 ()	計	3人
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (公民館事業懇談会)				
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用 <input type="checkbox"/> その他 ()				
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (全室wifi利用可能)				
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 (NPO法人みんなと湊まちづくりネットワーク 湊町区長会 湊地区民生・児童委員協議会 湊連合白寿会 湊地区体育連盟 湊地区子ども会育成会連絡協議会 湊小学校 湊中学校 湊小学校父母と教師の会 湊中学校父母と教師の会 人形劇サークル「びっころ」 秋桜会)				

会津若松市湊公民館

OPEN 9:00~22:00

T E L 0242-93-2461

H P <https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2007081000781/>

SNS



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

湊町は中山間地域に所在し、農業を主な産業としている地域である。

湖や山林等の自然に恵まれているものの、人口減少と高齢化が進んでいる現状を打開し、地区の活性化を図ることを目的に事業を進めている。

(1) 地域産業振興、地域の魅力再発見の講座の開催

地域産業の振興を目的として「竹細工の先進地」視察や「白虎隊奮戦の地」「山城巡り」など知られていない地域の歴史・自然資産を再発見する事業を実施している。

(2) 地域学校協働本部事業

平成28年度に「学校支援地域本部事業」として開始し、平成30年度に「放課後子ども教室」事業を加えて「地域学校協働本部事業」として年々事業の拡大を続けている。

毎月定例日に湊応援隊として小学校及び中学校において地域住民がボランティア活動を行うとともに、地区の高校生、大学生を講師に長期休業期間中の「子ども学習会」の開催、地域の名人によるこけしづくり、木工、着付け教室など特別授業を実施している。さらに学校側からも地域イベントに児童生徒が積極的に参加するなどの地域貢献が生まれてきている。

(3) 地域団体との連携

地域活力の低下の課題への対応を目的として、地区区長会を中心に平成27年3月に設立された「みなと湊まちづくりネットワーク」(現NPO)と連携・協力して、湊町の花「サギソウ」をPRする展示会や、地場産品である「もち」と「そば」を振舞う「湊もち・そばまつり」等のイベントを開催して、交流人口の増加と住民の意識高揚に努めている。



竹細工視察



敬老会で中学生がダンス披露



湊もち・そばまつり

公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。(できれば箇条書きで)

特徴的な取組による成果・効果

・直接の事業参加者のみでなく、新聞・テレビによる報道により、住民が地域を誇りに思える機会が増加したとともに、テレビを通してメッセージや動画、写真を配信できる地域内インターネットツール「みなとチャンネル」によって住民が主役となった情報を共有している。

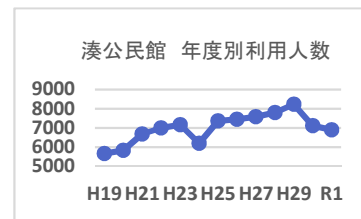
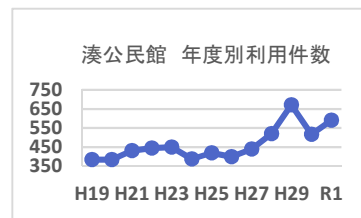
これまでの取組全体による成果・効果

・公民館事業を通じて地域の魅力を再発見することにより、地域団体主催による地域の山城めぐりツアーや、古代から近世にかけて当地区で製鉄が行われた歴史から「たたら製鉄実証実験」などのイベントが開催されることにつながってきている。

・NPOが運営する地域内公共交通「みなとバス」との連携により、交通手段のない高齢者等も公民館講座やサークル活動に参加できている。

・地区内人口は平成19年4月の2,229人から令和2年4月は1,670人と25%もの減少にもかかわらず、右のグラフのとおり公民館利用件数、利用人数とも増加傾向にある。

・地域学校協働本部のネットワークによりコロナウイルス感染症対策として地域ボランティアが小中学校、保育園に全員分の手づくりマスクを製作し、寄贈した。



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- ・公民館事業懇談会（会員14名）を年に1回開催して各団体・サークル代表から事業や運営について提言をいただいている。
- ・講座、イベント参加者からアンケートにより意見を徴するとともに、イベントは開催前の企画の段階でその目的と各自の役割を全体で共有し、さらに必ず終了後に運営スタッフを集めて改善すべき点を提言する会議を設けることで、より多くの観点から検証し次回の取組に資する情報を共有している。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦勞した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

・公民館事業の維持、向上のためには、新たな人材による事業発展が必要であり、地域内の限られた人員だけではなく、他地区に住む地域出身者や、地域への移住希望者を含めて参加を働きかけていくことが重要と考えている。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。(キーワードは赤字)

- ・地域コミュニティの維持と発展を目指し、**住民の自主性と主体性の尊重**のもとで、地域課題の解決を図っていく。
- ・地域住民の教育に関する高い意識をもとに、さらに**地域の教育力を増大する取組**を進める。
- ・多様な手段による情報発信を通して**住民の地域への誇りと帰属意識を拡大**していく。



地域PRのツール 湊町の花「サギソウ」

最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

・人口減少と40%を超える高齢化に悩む地区の中で、課題解決のためのノウハウを持つ人材情報を集積し、NPOや地域団体とともに公民館が困難を克服していくハブ的存在となることを目指す。

・地域出身者の故郷への協力を働きかけているNPOと連携して、地区外のマンパワーを集め人口減少と高齢化問題の解決策を探求する。



天然記念物「赤井谷地」など恵まれた自然



公民館の取組概要・経過

きっかけ

- 第6次福島市生涯学習振興計画に基づき取組を策定。

取組

- 高等学校×地域の農園×吉井田学習センターのコラボレーション（連携・協働）事業
- 高齢者の食と健康づくり「よしい健康教室」
- 地域連携防災教育事業「夏休み防災キャンプ」
- 令和元年度開館日数 284日間

取組による成果や効果、大切にしていること

以下の成果を生み出すことができた。

- 高等学校の地域社会への参画・協力は、人と人、人と地域とのつながりによる地域の活性化と、併せて教育の質の向上へとつながった。
- 町内会や老人クラブへの出前講座で介護予防等の学びの広がりも生まれ、地道ながらも住み良い地域コミュニティづくりへとつながっている。
- 防災関係の行政機関が加わることで、学習センターとしても「つながる基盤」を活かした新たな防災・減災教育事業（減災バスツアー）への展開した。

防災 # つながる基盤 # 関係性づくり # 地域の力

都道府県名	福島県	公民館対象人口	12037人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	福島市	建物設置年月日	平成7年7月1日	来館者利用可能PC台数	0台	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 3416人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 761人 (運営審議会ほか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 43807人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 2508人	計	50492人	
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 4人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人)	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任 1人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人	計	7人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (福島市中学生ドリームアップ事業、福島市インターンシップ・実習)	<input checked="" type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (福島市吉井田支所) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (清流荒川の右岸に位置し、恵まれた環境で住民のいこいの場となっている。)					
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 桜の聖母短期大学、福島県立福島西高等学校、福島市立岳陽中学校、吉井田小学校、吉井田支所、吉井田地域包括支援センター、NPO法人ビーズふくしま					

福島市吉井田学習センター

OPEN 午前9時～午後9時

TEL 024-546-3445

H P <http://www.city.fukushima.fukushima.jp/gakushucenter/yoshiidacenter>

SNS



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

●地域連携防災教育事業「夏休み防災キャンプ」

本事例は、東日本大震災がきっかけとなり「防災」をテーマとした事業です。

災害に対する日ごろの備えを具現化するため、地域の青少年健全育成推進会和連携し防災・減災教育事業の一環として、学習センターがファシリテーター役となり、平成28年度から地区内小学生児童を対象に、学習センターを避難所に見立て、避難生活体験型「夏休み防災キャンプ」として実施しています。

事業を通じて、地域のつながる基盤ネットワークづくりが形成されたことが特徴です。青少年健全育成推進会の構成員（育成会、町内会、婦人会、民生児童委員協議会、赤十字奉仕団、地区体育協会）と地区内の関係団体（商店会、食生活改善グループ）、消防団、行政支所、市危機管理室、地区内防災士と連携・協働することにより地域住民の防災・減災意識の向上につながっています。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- 「防災」をキーワードにした新たなつながり「つながる基盤」（関係性づくり）が生まれた。
- 地域の防災士の参加により住民同士の交流が図られた。●防災意識の浸透にもつながった。

これまでの取組全体による成果・効果

- 「つながる基盤」を活かすことにより、所属の構成員が変わっても課題解決に向けた継続的な取組みが確立された。



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- 町内会関係者、利用者団体代表者等9名で構成する運営審議会を年6回開催。
- 運営審議会と学習センターの連携・協働で・地域の声を反映し事業へ展開している。
- 毎年継続して実施している「防災キャンプ」に関して、運営審議会の評価・検証をもとに、内容を大きく2つにカテゴリズし、検討した。一つ目は「継続すべき内容」である。毎年繰り返し実施し、しっかり身につけさせたい「非常食体験」「空き缶を使つてのサバイバル飯」は継続することとした。二つ目は「変化をもたせる内容」である。例年参加している児童も多いことから、防災ゲーム、レクレーションに関しては毎年新味をもたせ、新鮮な活動を取り入れることとした。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

今後は、高齢者や防災をテーマに小さな関係づくりから始めた地域のつながる基盤（地域のエリア）を、子どもや環境をテーマに取り組むなど、地域で重層的なつながる基盤の広がり結び付けていくことが課題。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

地域への愛着心の育成につなげ、持続可能な地域社会づくりへつなげていくこと、「つどろ場」「まなぶ場」「むすぶ場」として「公民館の基本的な機能」を高めながら、運営方針にも掲げている「地域の力（※）を育む社会教育の推進」をすすめながら社会教育の役割を果たしていきたい。（※）地域の力を育むとは

- 自治力（住民の自治の力を育む） 互助力（地域住民の連帯の力を育む）
- 教育力（地域の教育力を育む） 文化力（地域の愛着と魅力を育む）



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

「多様な主体・担い手との連携・協働」で地域の力を育む

- ・ひろがり 社会教育事業・学習活動のひろがりの充実
- ・つながり 人・団体・事業をつなぎ、そのつながりを促進する結び直し
- ・ふかまり 生活課題・地域課題に密着した学びと交流の深まりを促進

以上、実践を通じた地域の担い手の育成と、それを支える職員の育成をとおして個人の幸福と社会の発展に寄与したいと考えている。



「なんまん」が育むいきいき南摩の輪！

鹿沼市南摩地区公民館



公民館の取組概要・経過

- ・南摩中学校発祥のキャラクターとして誕生した「なんまん」は南摩地区を象徴するご当地キャラクターとして地域に愛され、多くのグッズ等が誕生するとともに、商標登録されている。
- ・この「なんまん」はコミュニティ推進協議会主催の南摩フェスティバルや各種の「なんまん」を活かした活動を通して地域コミュニティを活性化させるとともに南摩地区の輪を育む役割を担っている。
- ・農村地区の特徴を生かした「ふれあい農園」で行う田植えや稲刈り、収穫祭を20年近く継続して行っており、幅広い世代の多くの住民が関わっている。
- ・本公民館は「地域学校協働活動」の拠点として、次年度からコミュニティ・スクールとなる地区中学校と連携・協働し、地域づくり活動や地域活性化に取り組んでいる。中学校と協働して取り組む高齢者への給食サービスは20年以上に渡り継続して実施している。

取組による成果や効果、大切にしていること

- ・「なんまん」に関連した地区行事やイベント等が増加したことで世代間交流が頻繁になり、地域コミュニティの活性化に結びついている。
 - ・南摩の輪が育まれていることをきっかけに、地域の人の多様なコミュニケーションの機会を意図的に設けたり、地域人材の育成を図ったりし、地域づくり活動を積極的に推進している。
- [# 世代間交流事業](#)

都道府県名	栃木県	公民館対象人口	3022人	インターネット接続環境	有	
市区町村名	鹿沼市	建物設置年月日	平成10年	来館者利用可能 P C 台数	0台	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 315人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 1700人 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 8542人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 0人	計 10557人			
職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任 3人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人	計 3人			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 ()) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (風光明媚な田園の中に立地し、地区の中心的なシンボルとなっている。)					
各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (地区保育園・農園)					

栃木県鹿沼市南摩地区公民館

OPEN 8:30~17:00
TEL 0289-63-8336

H P https://blog.goo.ne.jp/community_2018
SNS



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

地域の象徴としての「なんまん」は、地区の活性化や地域づくりに欠かせない存在となっており、平成30年度から鹿沼市の地域の夢実現事業として取り組んできた「なんまん商標登録事業」を契機に、従来から続いている事業や地区行事、学校との連携等、地域住民のつながりを一層育むことにつながっている。こうしたことから、特に「なんまんお祭りプロジェクト」では、地域住民が中心となって企画・運営する、地域の夏祭り事業、南摩フェスティバルなど、多様な世代の地域住民が集う場で、焼き菓子の「なんまん焼き」を始め、多種のなんまんグッズの販売、イベントの案内や看板などへの掲載等、なんまんキャラクターを全面に出して実施している。

昨年度で7回目を迎えた南摩フェスティバルは、地区住民の多くが参加者や関係者として関わる地区の一大イベントである。各ブースでは地域の団体や店舗関係者、地区中学校が「なんまん」に関連するグッズを取り扱っている。日頃から本公民館や地域との関わりが深い中学校では、「地域から学び社会に貢献できる生徒の育成」を目指していることもあり、このフェスティバルでも主体的に取り組んでいる。本公民館が、こうした事業や日々の連携を通して、「地域学校協働活動」の拠点として、次年度からコミュニティ・スクールとなる地区中学校と連携・協働することができている。

中学校から生まれた「なんまん」のキャラクターを地域住民とともに本公民館でも大切に育てていくことが、地域の輪をつなぎ、従来からの絆をより強めることができている要因であると考えられる。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- ・各プロジェクトを通じた事業や公民館事業に協力的な地域住民や参加者、協力者が増加したことにより、世代間交流が頻繁になり、地域の活性化に結び付いている。
- ・「なんまん」の普及、啓発により、地域の将来について深く考えるための機会が増え、商標登録したことで地域のキャラクターとして一層普及、活用され、地域づくりのシンボルとなっている。

これまでの取組全体による成果・効果

- ・「なんまん」の普及を推進することにより、多様な世代が公民館を身近な存在として捉えるようになり、新たな事業の展開や、主体的に地域づくりに参画する人材の活躍の場となっている。



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- ・「なんまん」に関する検討会を地区コミュニティ推進協議会に位置付け、地域住民による実践に向けた熟議、実施、評価、改善のPDCAサイクルを意識して取り組んでいる。
- ・公民館事業や地区の取り組みについて、市のデジタルコミュニティ推進協議会HPや公民館だよりで積極的に情報発信を行い、「なんまん」の普及、啓発に生かすとともに、地域住民の声を本公民館事業等に反映できるよう、webアンケートや各種事業、日常の交流、学校との連携等を職員が一丸となって行っている。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

- ・「なんまん」の地域での認知割合は、キャラクター発祥の中学校を中心として、生徒や家族、教職員を中心に拡大してきた。しかし、中学校との接点が少ない世帯については関心が低かったことから、プロジェクトを通じた主体的な協議を重ね、本公民館事業を始めとした多くの機会を生かしたPR活動を行ってきた。今後も様々な機会を捉えて、南摩＝「なんまん」のイメージを作り上げていきたい。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

- ・本公民館事業や各プロジェクトを通して、地域住民同士のコミュニケーションの機会を新たに設けたり、地域人材の育成を図ったりなど地域づくりの拠点として公民館を位置付けている。
- ・地域住民を主体とした世代間交流事業に積極的に取り組み、地区中学校との連携を通じた地域学校協働活動や地区の特徴を生かした活動等、「なんまん」を生かして今後も推進することで、南摩地区地域住民の輪を更に育てていきたい。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

本地区の地域での活動に、住民が主体的に参画したり、中学生や若者が積極的に関わったりと、多様な世代が関心をもち、各種事業やイベントの実践などが活発に行われるようになっていく。このことは、「なんまん」を通して、学びを通じた生涯活躍の地域づくりを、地域が一体となって進めてきたことが成果となって表れていると言える。今後は、「なんまん」で一層つながりを深めた地域住民の輪を生かし、地域課題の解決に向けて、学びや事業の実施の在り方について地域全体で熟議を重ねながら進めていきたい。

